

1-6 調査団員の編成

1-6-1 基本設計調査団員の編成

団 長	総 括	勝沼晴雄 杏林大学副学長
団 員	総合計画	上田信也 (株)日建設計計画主管
団 員	建 築	沼口行秀 (株)日建設計技師
団 員	積 算	前川幸作 (株)日建設計技師
団 員	設 備	中川淳壮 (株)日建設計技師

1-6-2 基本設計確認調査団員の編成

団 長	総 括	小倉一春 (財)国際看護交流協会常務理事
団 員	業務調整	猪俣 健 国際協力事業団無償協力・調達部 無償資金協力課
団 員	建 築	上田信也 (前掲)
団 員	設 備	中川淳壮 (前掲)

1-7 調査団の日程

1-7-1 基本設計調査団の日程

調査は、昭和53年10月22日から11月15日までの25日間にわたって実施された。以下はその主要な行動日程である。

月日	曜日	内 容
10/22	日	東京発 10:55 (JL 711) シンガポール経由 ジャカルタ着 <勝沼・上田・中川>
23	月	日本大使館表敬訪問。調査概要等説明。 保健省教育訓練センター (PUSDIKLAT) にて 「イ」国側カウンターパートと調査概要・日程・ 作業方針について打合せ。
24	火	保健省教育訓練センターにて討議。 DCNE 建設予定地 (ジャカルタ=チランダック) 調査。
25	水	保健省 Soejoto 次官表敬訪問および調査概要説明。 「イ」国側カウンターパートと討議。 ウジュンパンダン現地調査日程について打合せ。
26	木	ジャカルタ発 08:15 (GA 782) ウジュンパンダン着 KANTOR WILAYAH (保健省地方総局) および日 本総領事館表敬訪問および調査概要説明。 HNTS 建設予定候補地 No. 2, No. 3, No. 4 3 地点 の現地調査。
27	金	ウジュンパンダン看護教員養成校 (SEKOLAH GURU PERAWAT, UJUNG PANDANG) にて 討議。 HNTS 建設予定候補地 No. 4 現地再調査。 南スラウェシ州知事表敬訪問および調査概要説明。
28	土	HNTS 建設予定候補地 No. 5 現地調査。
29	日	ウジュンパンダン発 17:35 (GA 783) ジャカルタ着 <勝沼・上田・中川>
30	月	保健省教育訓練センターにて HNTS 建設候補地、

月日	曜日	内 容
		DCNEのプログラム等について討議。 東京発 10:55 (JL 711) ジャカルタ着 <沼口・前川>
31	火	保健省教育訓練センターにてHNTS建設候補地、 DCNEのプログラム等について討議。
11/ 1	水	保健省教育訓練センターにてMINUTES内容検討。
2	木	保健省教育訓練センターにてMINUTES内容検討。 ジャカルタ市内の建築現場見学。
3	金	保健省教育訓練センター所長代理 Sutia 氏と MINUTES 交換。 ウジュンパンダン再調査の日程等について打合せ。 ジャカルタ市内の建築現場見学。 ジャカルタ発 19:55 (JL 712) 東京発 <勝沼>
4	土	ジャカルタ発 11:55 (GA 702) ウジュンパンダン着 <上田・沼口・前川・中川>
5	日	HNTS建設予定地 No. 5 現場周辺調査
6	月	KANTOR WILAYAHにて区画決定について討議。 HNTS建設予定地敷地測量および地耐力試験位置 決定。
7	火	KANTOR WILAYAHにて区画決定について討議。 建設材料・建設単価調査。
8	水	KANTOR WILAYAHにて区画決定について討議。 中央公共事業局、電力公社、水道公社と打合せ。 DCNE建設予定地地耐力試験開始。 ウジュンパンダン発 15:30 (GA 703) ジャカルタ着 <沼口・前川・中川>
9	木	南スラウエシ知事よりウジュンパンダン市長宛へ 区画決定に関する Letter of Confirmationを提 出。 建設材料・建設単価調査。 DCNE建設予定地敷地測量。 ウジュンパンダン発 16:20 (GA 783)

月日	曜日	内 容
10	金	<p>ジャカルタ着 <上田></p> <p>KANTOR WILAYAHより HNTS 建設予定地における地耐力試験実施についての地主の合意を要請する文書が提示される。</p> <p>ジャカルタ市公共事業局，電力公社と打合せ。</p>
11	土	<p>保健省教育訓練センターにて建設計画について討議。</p>
12	日	<p>DCNE 建設予定地地耐力試験終了。</p> <p>HNTS 建設予定地地耐力試験開始。</p>
13	月	<p>保健省教育訓練センターにて建設計画について討議。</p> <p>ジャカルタ市内建築現場見学。</p> <p>建設材料，建設単価調査。</p>
14	火	<p>保健省教育訓練センターにて建設計画について討議。</p> <p>保健省教育訓練センター所長代理より建設計画の RECORDS OF DISCUSSIONS に対する「イ」国側の受領確認書を受取る。</p> <p>ジャカルタ市内建築現場見学。</p> <p>日本大使館へ調査概要報告。</p>
15	水	<p>ジャカルタ発 08:00 (CX 710) 香港経由 (CX 550)</p> <p>東京着 <上田・沼口・前川・中川></p>

1-7-2 基本設計確認調査団の日程

月日	曜日	内 容
2/18	日	東京発 11:15 (CX 501) シンガポール経由 ジャカルタ着 <小倉・猪俣・上田・中川>
19	月	日本大使館表敬訪問, 基本設計内容説明. 保健省教育訓練センターにて, センター所長 dr. H. Herman Soesilo MPH. 以下関係者に基本設 計説明. スケジュール, 要求書類の確認, インドネシア側 工事の確認.
20	火	保健省教育訓練センターにて, Drs. Sutia Anggadihardja 以下関係者と基本設計ならびに 無償援助制度について説明.
21	水	保健省教育訓練センター所長より, Letter of Confirmation を受取る. 「イ」国側工事予算について打合せ.
22	木	ジャカルタ発 08:15 (GA 782) ウジュンパンダン着 11:25 <小倉・猪俣・上田・中川> KANTOR WILAYAHにて, 基本設計説明および 現地調査の打合せ. HNTS 建設用地敷地測量.
23	金	KANTOR WILAYAHにて, 南スラウエシ保健局 長 dr. Tadjuddin Chalid MPH. と敷地につい て討議. 日本総領事館表敬訪問.
24	土	KANTOR WILAYAHにて, 敷地について打合せ. ウジュンパンダン看護教員養成校にて討議. ウジュンパンダン発 16:20 (GA 783) ジャカルタ着 <小倉・猪俣・上田・中川>
25	日	日本大使館・JICA・団員にて, 問題点およびス ケジュールを討議.
26	月	保健省教育訓練センターにて討議. 南スラウエシ知事より, 保健省次官宛へ HNTS 建 設用地の買増しを約束する手紙と図面を受領.

月日	曜日	内 容
27	火	<p>DCNE 建設用地の都市計画道路の案がジャカルタ市より提出される。</p> <p>保健省教育訓練センターにて、HNTS 建設用地について打合せ。</p> <p>小倉団長より保健省教育訓練センター所長宛へ Letter of Confirmation に対する日本側の受領確認の手紙を提出，併せて資料等に関する要望事項を伝える。</p> <p>保健省教育訓練センター所長より，南スラウエン知事宛へウジュンパンダン市長の負担する「イ」国側工事予算について依頼する手紙を受領。</p>
28	水	<p>保健省教育訓練センターにて，工事に関する詳細討議。</p> <p>調査団より，保健省教育訓練センター副所長 Drs. Sutia 宛へ Memorandum を提出。</p> <p>上記副所長 Drs. Sutia 氏より，上記 Memorandum に対する Letter of Confirmation を受領。</p> <p>日本大使館へ調査結果報告。</p>
3/1	木	<p>ジャカルタ発 08:00 (CX 500)</p> <p>東京着 <小倉・猪俣・上田・中川></p>

第2章 看護教育プロジェクト

2-1 総括（経緯）

「イ」国は、13,000 有余の島々からなり、約 13,000 万人の人口を擁し、その 2/3 は全国土面積の 6.7% に当たるジャワ島、バリ島に居住しているが、全人口の 83% は農村居住者である。「イ」国政府は、総合開発計画の一環として第1次から第3次（1969～74、～79、～1984）にわたるヘルス・ディベロップメント・プログラムを組み、国民の健康保持増進に資し、社会経済発展の基礎を確立しようとしている。これは、特に農村対策に重点を置き、地域医療サービスの向上を目途している。このため、その地域の広大さから、ヘルス・マンパワーの確保が緊要となっている。その中核が Perawat Kesehatan (P.K. = Primary Health Nurse) である。

(注) P.K. は、中学教育（小学校6年＋中学校3年）終了後、3年の看護教育で養成される。P.K. は、主要保健所、助産所、保健所支所等の農村保健施設の先端で活動するが、P.K. に期待されている業務は、

- (a) コミュニティの必要課題を見出せる者であり、コミュニティを励まして、その必要課題を成し遂げること
- (b) 個人衛生、環境衛生、精神衛生、栄養指導、家族計画、母子保健、学校保健、事故防止、健康増進、歯科保健などの指導ができること
- (c) 産前産後のケアと分娩介助ができること
- (d) 事故の救急処置とケアができること
- (e) 簡単な傷の手当や治療ができること
- (f) 伝染病やその他一般疾病看護ができること
- (g) 記録や報告ができ、仕事上の管理ができること
- (h) 簡単な臨床検査や検査物の収集ができること

などである。できるだけその地方の出身者を教育して出身地に還元する方針である。

「イ」国の国家保健計画の保健要員確保と養成の基本方針は、地方自治市一線機関として、57,800 ある Desa (= Village: 人口 2,000 人～4,000 人、平均 3,000 人ぐらい) に P.K. を配置する計画である。

保健省看護教員訓練センターの計画によると、P.K. 養成校を第3次5カ年計画の終了する1983年度末までに150校を設置することになっている。生徒数

は各約 100 名で、10 名につき教員 1 名が必要である。この教員を養成するのが看護教員養成校 (Sekolah Guru Perawatan) で、現在ジャカルタ、バンドン、スラバヤ、およびウジュンパンダンの 4 市に設置されている。

2-2 看護教育プロジェクトの妥当性

「イ」国の一般民衆の間では、急性気管支炎および肺炎、結核性疾患、下痢腸炎、マラリアおよび伝染性疾患、皮膚疾患、眼科疾患などの伝染病の蔓延は日常的であり、平均寿命も約 48 才といわれている。

このような保健水準にあるため、第一線に立ってこの現状を理解し、日本的に言えば、保健婦、助産婦、看護婦の任務の他、救急医療も行う P.K. (Perawat Kesehatan = Primary Health Nurse) の養成が急務とされており、「イ」国は P.K. 養成に全力を上げている。

具体的には、「イ」国政府は、1983 年までに P.K. 養成校を 150 校設置する計画を立て、実施している。

このため、この P.K. 養成校に供給する教員を緊急に養成することが当面必要不可欠のこととなっており、「イ」国政府は、わが国に対し、ウジュンパンダンおよびジャカルタにおける P.K. 教員養成校の施設、設備等、および看護教育システムの確立およびカリキュラムの開発等について強化充実のための協力を要請してきた。

期待される P.K. を養成するには、優秀な P.K. 教員の養成は欠くことができず、わが国は、この要請に対して、ウジュンパンダンにおいては P.K. 養成校のモデル校を設立し、ジャカルタにおいては、看護教育開発センターを設立し、その運営に協力するものである。

看護教育開発センターで開発した各教材等をこのモデル校において実際に応用し、その結果を再び教材の改良等に役立て、終局的には「イ」国のスタッフで開発運営ができるようにし、P.K. 教員養成に係る協力を通じ、P.K. の養成に協力するものである。看護教育開発センターでは、現在「イ」国で極端に不足している教科書、実習教材等、教育に必要な教材の開発に協力するものである。

これらのことは、「イ」国における保健医療の向上につながるばかりではなく、民衆の健康福祉に直結し、「イ」国の社会経済の発展に寄与するものである。

2-3 看護教育プロジェクトの概要

2-3-1 目的

「イ」国における4つ（ジャカルタ、バンドン、スラバヤ、ウジュンパンダン）の看護教員養成校からなる看護教員養成機構について、日本側の技術協力および無償資金協力により、一層の充実をはかり、「イ」国のP.K.養成確保に資する。

2-3-2 ウジュンパンダン看護教員養成校（HNTS）の開発ならびに建設

(1) 入学対象者

正規課程入学対象者は、一般教育9年終了のうえ、看護婦または助産婦教育3年終了のうえ、実務経験3年以上のものである。

再教育課程入学対象者は、教員養成課程終了後、P.K.校等での教育経験2年以上のものである。

または、地方政府が推薦するものである。

(2) 養成定員および修業期間

正規課程の定員は40名とし、1年間の修業期間である。

再教育課程の定員は30名とし、1か月以上の修業期間である。

(3) カリキュラム（現行）

年間教育時間数は870時間である。

主たる授業科目は、看護教育、教授法、一般教養、実習から構成される。看護教育は、Introduction of Nursing（40時間）、地域看護（100時間）、臨床看護（100時間）、精神科看護（40時間）、リーダーシップ看護（40時間）、健康教育（40時間）、疫学（60時間）、合計420時間から構成される。

教授法は、学習理論（60時間）、教育技法（30時間）、評価の原理と技法（60時間）、教授法（120時間）、合計270時間から構成される。

一般教養は、インドネシア語（40時間）、英語（60時間）、社会人類学（40時間）、心理学（40時間）、合計180時間から構成される。

実習は、病院、保健所、地域、P.K.校、Maternity Hospitalにおいて実習され、月当たり約90時間実務訓練がされる。

(4) 職員構成

職員は、事務管理職員、教員、ならびに日本人専門家から構成される。

(5) その他

教育期間中の費用は、生活費を含めて国が負担する。

2-3-3 看護教育開発センター(DCNE)の新設

(1) 目的

「イ」国における看護教育に関する開発センターとして、看護教員養成を主たる対象として、指導、訓練、ならびに教育技術の開発、研究、調査等を行う。

(2) 位置づけ

現在ジャカルタにある教育訓練センター(CET)直属の国立訓練センター(NTC)を改組して設置する。

(3) 機能

- (イ) 教育カリキュラムガイダンスの作成、検討
- (ロ) 教授方法の研究指導
- (ハ) 教材の開発、指導
- (ニ) 教育評価と研究
- (ホ) 看護教育計画の評価
- (ヘ) 看護教育全般に関する調査、研究
- (ト) 臨床専門技術の指導、訓練ならびに知識の教授
- (チ) 現任訓練
- (リ) 研修、研究会の実施
- (フ) 図書類の整備、開発
- (ル) 学校管理運営の指導、監督
- (エ) 地域における保健の実態、調査および研究
- (ケ) 報告と記録制度の確立
- (コ) 看護学校の資格認定
- (ク) 国家試験制度および登録制度に関する調査研究
- (ク) 各種委員会活動

(4) 職員構成

職員は、事務管理職員、カウンターパート、ならびに日本人専門家から構成される。

2-4 技術協力

5年間を区切りとして、日本より下記の技術協力を行う。

ウジュンパンダン看護教員養成校および看護教育開発センターを対象として、

- (イ) 機材の供与を行う。
- (ロ) 長期および短期の専門家派遣（看護教育、臨床看護、公衆衛生、視聴覚教育、学校管理、その他総合調整等）を行う。
- (ハ) 日本に研修員としてカウンターパートを受入れ、研修を行う。

等の技術協力を行う。

それぞれの施設への技術協力の具体的内容は以下のとおりである。

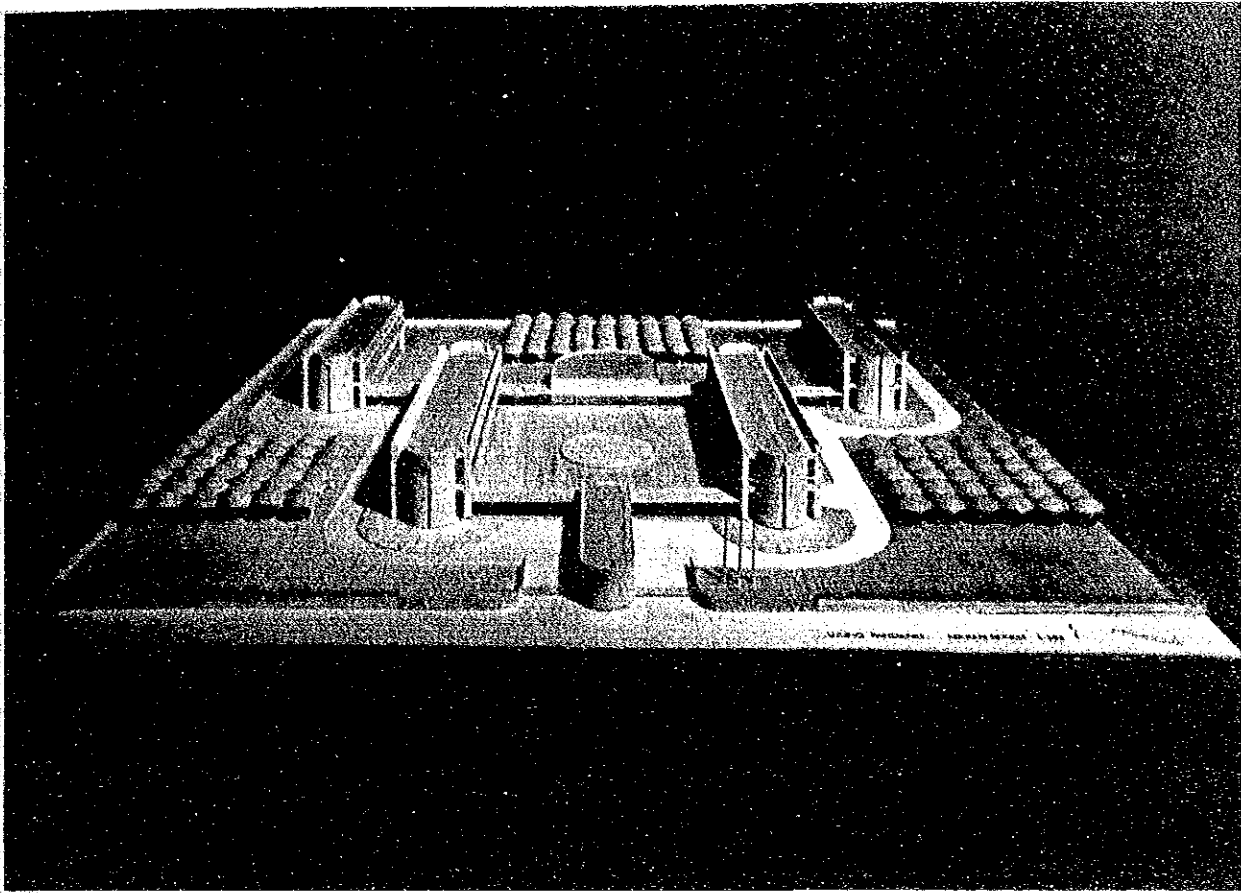
(1) ウジュンパンダン看護教員養成校 (HNTS)

- (イ) 学校運営管理の指導
 - (a) 指導要領の作成および実施
 - (b) 教材の使用の指導
 - (c) その他本校の運営に関する指導
- (ロ) 教育評価
- (ハ) 地域の保健衛生統計等に関する実態調査と分析を行い、カリキュラムに反映するための指導
- (ニ) 臨床看護教育指導（救急、専門臨床看護）
- (ホ) 公衆衛生看護技術教育指導

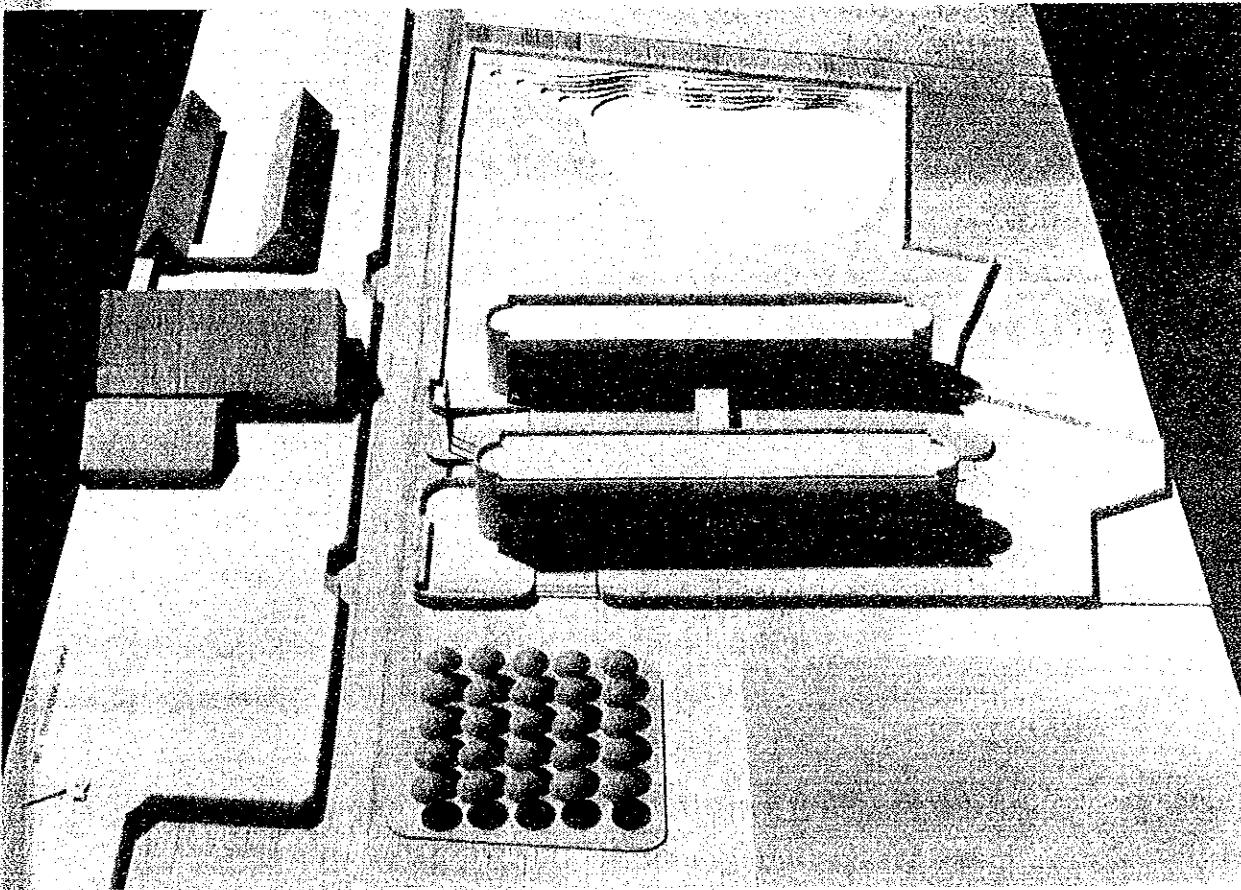
(2) 看護教育開発センター (DCNE)

- (イ) 教育カリキュラムの開発
- (ロ) 教育指導技術の開発
 - (a) 教材の開発
 - 視聴覚教材の作成とその利用方法
 - 教育用参考図書（教科書を中心とする）の編纂
 - (b) 教育技術の指導方法
- (ハ) 教育評価
- (ニ) 現任訓練
 - 既設の看護教員養成校および看護婦養成学校の現職教員を年間4回に分けて、1グループ20人を単位としてそれぞれ1カ月訓練を行う。
- (ホ) 学校運営管理の指導

これら日本の技術協力についての RECORDS OF DISCUSSIONS を添付する。（付属資料-IV）



UJUNG PANDANG (HNTS)



JAKARTA (DCNE)

第3章 基本設計

3-1 基本事項

本基本設計は、1978年8月に実施された「インドネシア共和国看護教育施設建設計画事前調査団」、1978年10月から11月にかけて実施された「インドネシア共和国看護教育施設建設計画基本設計調査団」の結果をふまえて作成された。また、基本設計は、「イ」国保健省教育訓練センター(PUSDIKLAT)、さらに、ウジュンパンダン市の保健省地方総局(KANTOR WILAYAH)およびジャカルタ・ウジュンパンダン両看護教員養成校等の関係者より各施設に対する諸条件として提示されたものに技術上の調整を加えた。

本建設計画に関連して、「イ」国側で実施しなければならない工事が幾つかあるが、施設の機能上あるいは工事に必要なものについては、本基本設計の中で言及した。

現地における建設資材、労務費、工期、さらに請負業者などの実情、あるいは関連法規、技術基準などの収集等の調査をもとに、工事費予算、工期の検討を行ったが、現時点ではこれらについて確実に把握することは困難な面があるので、今後さらに詳細な研究が必要である。日本からジャカルタ市への、ならびに、ウジュンパンダン市への資材等の輸送は、ジャカルタ港およびマカッサル港直行便を利用することが考えられるが、これら資材等の「イ」国側における引取りに関する事前の十分な配慮(たとえば関税の免除、一時保管場所の確保、陸送の方法)が必要である。

3-2 計画の概要

3-2-1 計画の概要

インドネシア共和国看護教育施設建設計画はウジュンパンダン看護教員養成校(HINTS)とジャカルタ看護教育開発センター(DCNE)の2つの建設計画から成り立つ。

本基本計画は下記の2項目より構成されている。

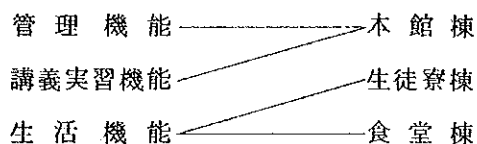
- (1) 建物 (Buildings)
- (2) 教育機材 (Educational Equipment)

ここで、それぞれについて略述すれば以下のようなになる。

(1) 建 物

建物の基本的機能は次の3つに分類されて、棟相互に有機的に組み合わさ
れている。

HNTS



DCNE



本建設計画には、寮の建設は含まれない。しかし、将来、寮の建設が必要な場合に対処できるよう、本建設計画では、その配置計画を考慮に入れて計画するものである。

(2) 教育機材

教育機材とは、ここでは各実験室に設置される実習用機器類を指し、それらは次のようになる。

HNTS

- 看護実習用機材一式
- 化学実習用機材一式
- 調理実習用機材一式
- 視聴覚教育用機材一式
- 上記機材用特殊設備一式

DCNE

- 看護実習用機材一式
- 化学実習用機材一式
- 視聴覚教育用機材一式(含スタジオ機材)
- 上記機材用特殊設備一式

3-2-2 構造・規模

HNTS

- | | |
|----------|--------------|
| (1) 本館棟 | 鉄筋コンクリート造2階建 |
| (2) 生徒寮棟 | 鉄筋コンクリート造2階建 |
| (3) 食堂棟 | 鉄筋コンクリート造平家建 |
| (4) 機械棟 | 鉄筋コンクリート造平家建 |

DCNE

(1) 本館棟

鉄筋コンクリート造2階建

3-2-3 面積

HNTS

敷地面積	20,000 m ²	(142m×142m)
建築面積	3,056.5 m ²	
延床面積	4,745.4 m ²	
内訳		
本館棟	2,087.2 m ²	(計)
	1,043.6 m ²	(1階)
	1,043.6 m ²	(2階)
生徒寮棟	1,763.2 m ²	(計)
	881.6 m ²	(1階)
	881.6 m ²	(2階)
食堂棟	274.6 m ²	
機械棟	185.0 m ²	
渡廊下	435.4 m ²	

DCNE

敷地面積	約 13,500 m ²	
建築面積	1,371.1 m ²	
延床面積	2,300.0 m ²	
内訳		
本館棟	2,208.8 m ²	(計)
	1,144.9 m ²	(1階)
	1,063.9 m ²	(2階)
渡廊下	91.2 m ²	

3-3 基本方針

基本設計は下記の方針に基づいて作成するものとする。

- (1) 「イ」国側利用者の意向を可能な限り組込んだ設計とする。
- (2) 現地の気候・風土条件を考慮した設計とする。
- (3) 現地の慣習・生活様式に合致した、使いやすく維持管理が容易な設計とする。
- (4) 現地の建設技術を考慮した設計とする。
- (5) 現地の調達可能な資材の使用を原則とする。
- (6) 建物は将来の機能変更に対処しやすい構造とする。また、将来の発展が可能な全体計画とする。
- (7) 設計の基準は、原則として、日本の建築・設備諸法規および諸基準に準拠することとするが、必要に応じて現地の実情に適合させる。

3-4 敷地条件

3-4-1 位置

HNTS

ウジュンパンダン市は、スラウエシ島の南端に位置し、マカッサル海峽に面した南スラウエシ州の州都で、人口約65万人を擁する（南緯5°05′，東経119°05′）。敷地は、前述したように、市の中心から南東に直線距離にして約5kmのところの位置する。本建設計画のために「イ」国側より提示された敷地は、東西142m、南北142mの部分で、現在農地として使用されている。建設に先だって約1.5mの土盛りが「イ」国側によってなされていることが前提となる。当敷地周辺には、州立教育大学（KAMPUS SPG）とイスラム学校教職員宿舎があり、敷地北方1kmには、現在集合住宅（KOMPLEKS PERUMNAS）が建設されている。

DCNE

ジャカルタ市は、ジャワ島の西端近くに位置し、「イ」国の首都で、人口約465万人を擁する。（南緯6°08′，東経106°45′）

敷地は、市の中心から南へ直線距離にして約14kmのところの位置する。本建設計画のために「イ」国側より提示された敷地は、東西約140m、南北約

70mの不整形な部分である。当敷地前面には、ジャカルタ看護教員養成校 (SEKOLAH GRUPPE RAWATAN/KEBIDANAN DAN PERAWAT KESEHATAN MASY)がある。当敷地は、北東に向かって低下しており、平均1.5mの土盛りが「イ」国側でなされていなければならない。

3-4-2 都市計画との関連

HNTS

市の都市計画のマスタープランによれば、マンガサ地区に含まれる当敷地周辺部は、将来の市の中心的な住居地域としてゾーニングされている。本建設計画は、その主旨に沿ったものとして受取られている。なお、防火地域指定等の具体的な建築規制等は実在せず、規模、形状等についての都市計画上の特別な考慮は不要と思われる。

DCNE

市の都市計画によれば、チランダック地区に含まれる当敷地は、村地域 (PEDUSUNAN)に属し、最小区画2,500m²、建ぺい率15%、防火地域指定なしとなっている。敷地面積が5,000m²を越えるため、知事の開発許可が事前に必要となる。なお、外壁後退距離は、原則として前面道路より10m、高さ制限は2階建までとなっている。

3-4-3 気候条件

HNTS

当地域は熱帯地域に属し、平均気温は年中25℃～27℃と、ほとんど変化がみられない。日中気温は30℃前後まで上昇し、湿度も80%程度を示すが、あまり不快感はない。

年間降雨量は約3,000mmで、その大半は、雨期である11月～4月に集中する。最大月は例年1月で、月間800mm～1,100mmといったところで、日降雨量は295mm/日が過去10年間の最大値である。降雨のパターンは、熱帯スコールのそれとは異なり、1週間ほど継続するのがこの地域の特徴で、雨期の降雨日数は20日～26日である。

風は、年間を通じてほぼそのパターンは定まっていて、強風方向は北西または南東、特に1月頃の強風は北西風で、風速も15m/秒前後に達する。しかし、平均的には1～2m/秒程度の穏やかな風で、乾期は最大で7m/秒程度である。特に、この地域一帯は暴風雨に襲われたことはないといわれている。

気温	日平均気温	年間を通じて変化は小さく、24.9℃～26.9℃
	日最高気温	9,10月が高く、30℃～34.8℃ぐらい

		その他の月	29℃～33℃ぐらい
	日最低気温	大 体	19℃～25℃ぐらい
湿 度	平均湿度	最低は8月～9月	54%～75%ぐらい
		最高は1月～3月	80%～86%ぐらい
雨 量	年間降雨量	3,000mm前後	
		最大値は12月～2月に集中. 800mm～1,155mm	
		1962年以後の最大値は1977年2月の1,155mm	
		日最大降水量 295mm/日(1977年1月)	
降 雨 日 数	雨 期(12月～3月)	19日～22日ぐらい	
		中間期(10,11月,4,5月) 7日～11日ぐらい	
		乾 期(6月～9月) 2日～4日ぐらい	
		(1962年～1977年のデータより)	
風	平均風速・風向	1.0～3.1 m/秒	東南・西北
	最大風速・風向	6.2～23.1m/秒	西～西北, 東

DCNE

当地域は熱帯地域に属し、平均気温は年中25℃～28℃と、ほとんど変化がみられない。日中気温は30℃前後まで上昇し、湿度も80%程度を示す。年間降雨量は約2,000mmで、その大半は雨期である12月～3月に集中する。最大月は例年1月で、月間400mm～650mmといったところである。また、雨期の降雨日数は15日～24日である。風は年間を通じて、ほぼそのパターンは決まっています。平均的には1m～2m/秒程度の穏やかな風である。

気 温	日平均気温	年間を通じて変化は小さく25.5℃～27.9℃	
	日最高気温	9,10月が高く, 32℃～34.1℃ぐらい。	
		その他の月	29℃～32℃ぐらい
	日最低気温	大 体	22℃～23.7℃ぐらい
湿 度	平均湿度	最低は9月～10月	65%～75%ぐらい
		最高は1月～3月	80%～86%ぐらい
雨 量	年間降雨量	1,700mm～2,200mm	
		最大値は12月～3月に集中.	
		250mm/月～640mm/月	
		1967年以降の最大値は1974年1月の646mm/月	
降 雨 日 数	雨 期(12月～3月)	15日～24日ぐらい	
		中間期(10,11月,3,5月) 10日～15日ぐらい	
		乾 期(6月～9月) 2日～10日ぐらい	
		(1971年～1974年のデータより)	

風	平均風速	1.5 m/秒～2.6 m/秒
	最大風速	3.6 m/秒

3-4-4 地質

構造物の基礎形式、地業形式を決定するため、基本設計調査時に本計画敷地内にて、土質調査（標準貫入試験）を実施した。

別紙 Specifications for Soil Tests に基づき、インドネシアの Soil Test 会社 P.T. SOIL TEST & FOUNDATIONS に発注し、Jakarta Cilandak は 2 カ所（Nov. 6～Nov. 12）、Ujung Pandang は 3 カ所（Nov. 12～Nov. 17）で、土質調査を実施し、12月初旬最終報告書を受領した。

HNTS

本計画敷地は、平坦な耕作地（Rice Field）で、地層分布も著しく変化することなく、ほぼ一様である。

基本設計調査時（11月）には、地表面は乾燥状態で、水位は現在の地表面下約 1.5m と思われるが、雨期には冠水し、全般に湿潤状態になるものと思われる。Boring 位置の決定に当たっては、基本設計調査時の計画敷地決定に至る経過を考慮して、3カ所を Fig. H-1 に示すように分散させ、最終決定に対応できるように広範囲の地層分布を把握することを考えた。

B-2 の土質調査結果を Fig. H-2 に示す。

調査結果によると、現地表面より 4.0m 前後までは N 値 10～25 程度のシルト質砂岩（Silty Sand）、以下 7～7.5m までは層厚約 3.0m、 N 値 0～6 程度のシルト質粘土層（Silty Clay）、それ以深は N 値 50 以上の堅固な砂岩（Sand Stone）が分布している。

本建物（HNTS）は、地上 2 階建の鉄筋コンクリート造であって、然程大きな接地圧とならないので、注意深く計画すれば上層の N 値 10 以上の Silty Sand 層に直接支持しうるものと思われる。また、設計に当たっては、約 1.5m の盛土を考慮に入れなければならない。

DCNE

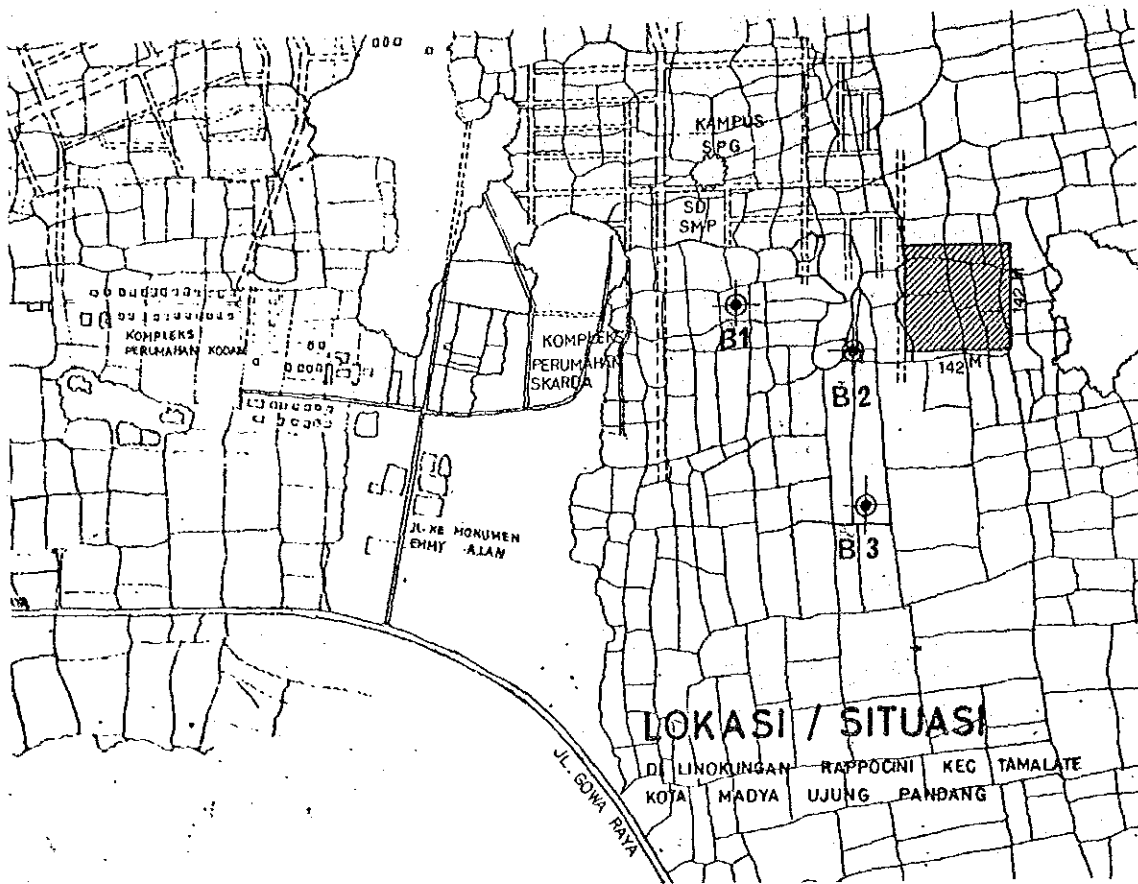
本計画敷地は Fig. D-1（敷地測量図）に示すように、現地盤高さは西側に池があって全体に東から西に傾斜しているとともに、南北にも大きな段差があり、前面道路高さより約 0.5～2.5m の範囲で高低差がある。そのため、雨期には北側の低い所は冠水し、湿潤状態になるものと思われる。

Boring 位置の決定に当たっては、Fig. D-1 に示すように、建家配置および周辺道路の将来計画を考慮するとともに、南側マウンド上（B-1）と北側低地（B-2）におのおの 1カ所計 2カ所を設定した。

B1の土質調査結果をFig. D-2に示す。

調査結果によると、No.1(B-1)では、地表面より約11mまでは大略 N 値10前後のシルト質粘土(Silty Clay)または粘土質シルト(Clayey Silt)層でそれ以深は N 値50以上の堅固な地層となっている。

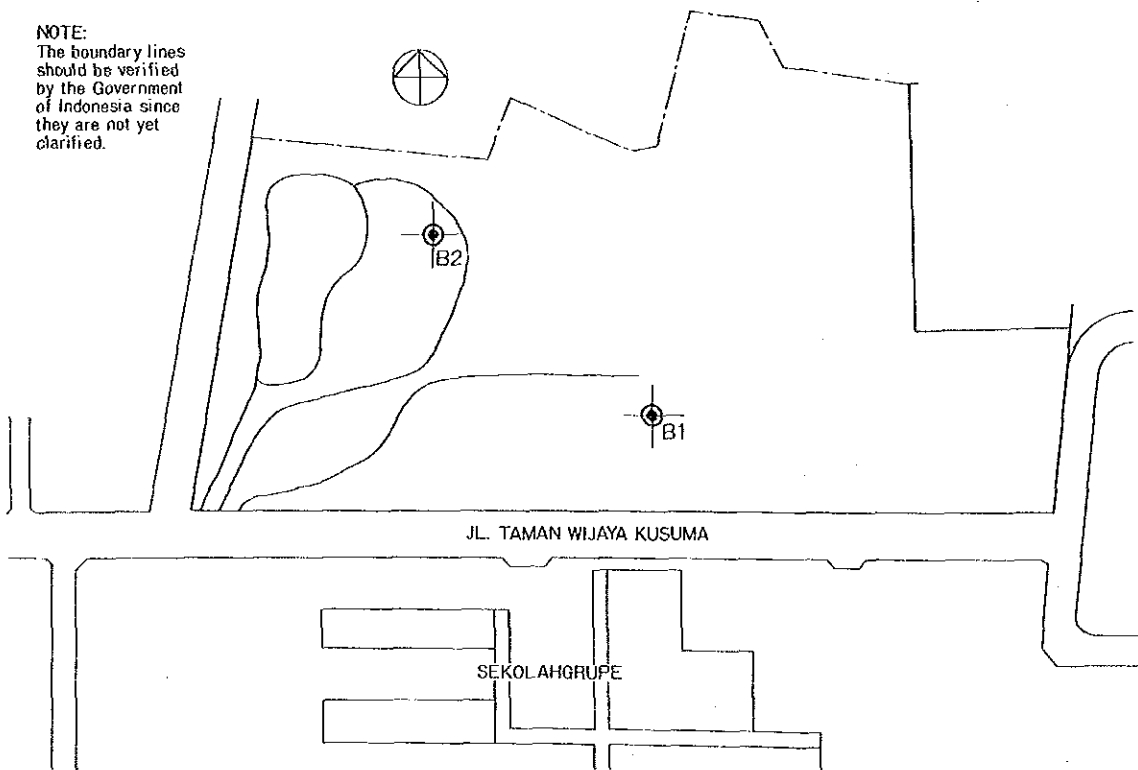
No.2(B-2)位置は、地表面より約3mまでは N 値13～23のシルト質粘土(Silty Clay)または粘土質シルト(Clayey Silt)、以下5.0mまでが N 値50以上の硬質シルト層(Cemented Clayey Silt)、以下9.0mまでは N 値12～28の粘土質シルト(Clayey Silt)、砂質シルト(Sandy Silt)が分布している。地表面下9.0m以深は N 値50以上の堅固な地層分布となっている。本建物は、地上1～2階建の鉄筋コンクリート造であって、接地圧も小さく、直接基礎として設計しうるものと思われる。ただし、現地表面のレベル差がかなりあるので、かなりの量の埋立てが必要であり、基礎下レベルの設定には充分注意を払う必要がある。



UJUNG PANDANG (HNTS)

Fig. H-1

NOTE:
The boundary lines
should be verified
by the Government
of Indonesia since
they are not yet
clarified.



JAKARTA (DCNE)

Fig. D-1

BORING PROFILE

Location : UJUNG PANDANG

Boring No. : B 2

Boring Date : Nov. 14 - 16. 1978.

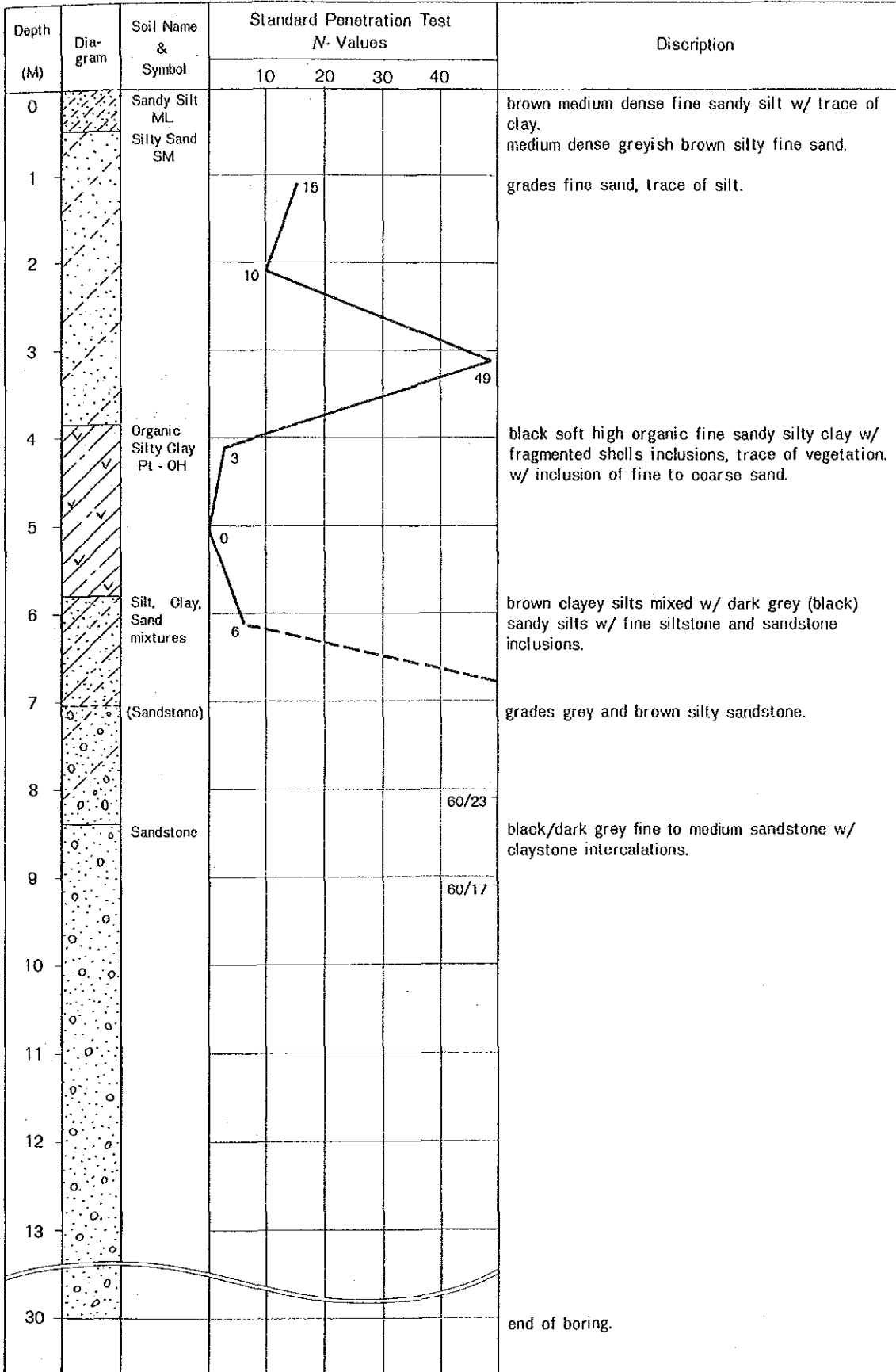


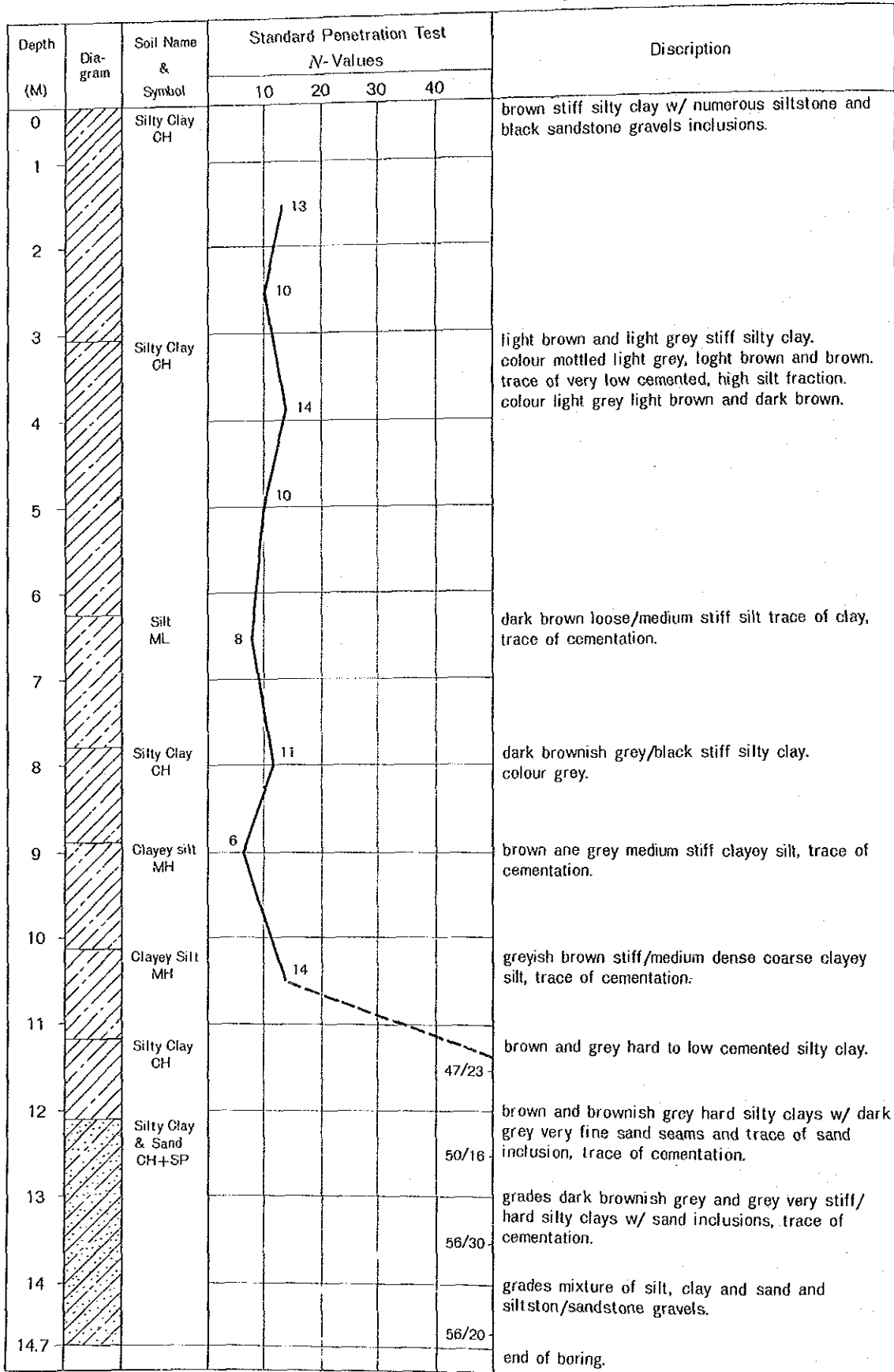
Fig. H-2

BORING PROFILE

Location : JAKARTA, CHILANDAK

Boring No. : B 1

Boring Date : Nov. 6 - 8, 1978.



October 18th, 1978

SPECIFICATIONS

FOR

SOIL TESTS

1. SCOPE

This specification covers the requirements for carrying out the soil tests at the construction sites in Ujung Pandang and Jakarta, Indonesia. The soil tests shall include furnishing all labour, materials, equipment, tools and transportation necessary to carry out the boring, sampling and laboratory testing specified herein.

The locations of the construction sites will be furnished by Nikken Sekkei to the Contractor with reasonable promptness.

2. ITEMS OF TESTS

2-1 Ujung Pandang Site

- a. Number of boring locations: 3.

The precise locations will be directed on site.

- b. Depth of holes to be bored: 30 m in principle. The first boring shall be carried out down to 30 m and the other two shall be carried out to the depth where N value reaches 50.

c. Items to be investigated

- i. Core boring at two locations

- ii. Standard penetration tests

The tests must be carried out at every 1 m interval.

- iii. Undisturbed sampling

iv. Laboratory soil tests
The following test must be made for each layer by the use of samples.

iv - 1 Specific gravity test

iv - 2 Bulk density test

iv - 3 Mechanical analysis of soil

iv - 4 Sieve analysis test for each sand layer

2-2 Jakarta Site

a. Number of boring locations: 2

The precise locations will be directed on site.

b. Depth of holes to be bored: 20 m in principle. One boring shall be carried out down to 20 m and another shall be carried out to the depth where N value reaches 50.

c. Items to be investigated

i. Core boring at two locations

ii. Standard penetration tests

The tests must be carried out at every 1 m interval.

iii. Undisturbed sampling

iv. Laboratory soil tests

The following test must be made for each layer by the use of samples.

iv - 1 Specific gravity test

iv - 2 Bulk density test

iv - 3 Mechanical analysis of soil

iv - 4 Sieve analysis test for each sand layer

3. PERIOD OF SOIL TESTS

The Contractor shall submit to Nikken Sekkei a working program showing the schedule, types of equipment, to be used etc. by October 23rd, 1978.

4. SUBMISSION OF REPORT

The Contractor shall submit an interim report on the soil test to Nikken Sekkei by November 14, 1978 at Jakarta. The final report shall be submitted to Nikken Sekkei by the end of November.

3-4-5 地 震

インドネシア群島は、世界的にも地震活動が高い地域に属していて、過去にも多くの地震が発生している。

図(1)は、インドネシア全土の過去の地震震源地を震源の深さによって3段階に分類して示したものである。

また、図(2)は、インドネシアの建築施行規則(Draft)として規定されている建物設計用の地震荷重を決定するための地域係数区分である。

これらによれば、セレベス南西部はインドネシア全土の中では、地震活動の程度は中程度の地域に属しているといえよう。また、ジャワ島西部も中程度の地域に属しているといえよう。

図(3)は、本計画の位置するセレベス南西部で、図(4)は、本計画の位置するジャワ西部で1900～1970年間に発生した地震を、修正メリカル震度階をもとにして地域区分したものである。これらによれば、ウジュンパンダン、ジャカルタとも地震による地面のゆれ方として少ない $0.01 \sim 0.03g$ (g は重力の加速度、 $g = 980 \text{ cm/sec}^2$)の地域に分類されている。

基本設計調査によれば、最近の地震記録としては、1977年8月にマグニチュード7(震源地バリ)、1977年11月にマグニチュード5.5(震源地ジャカルタ東南1,800 km)が記録されている。

Seismicity Map of Indonesia

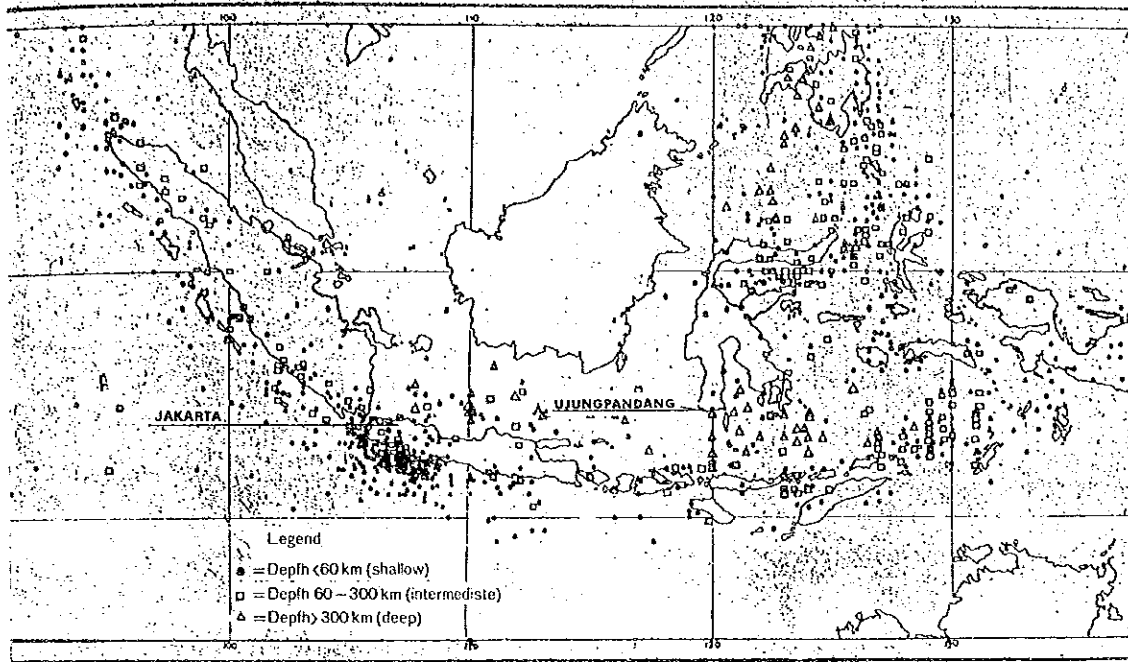


Fig. E-1

PETA DAERAH GEMPA INDONESIA

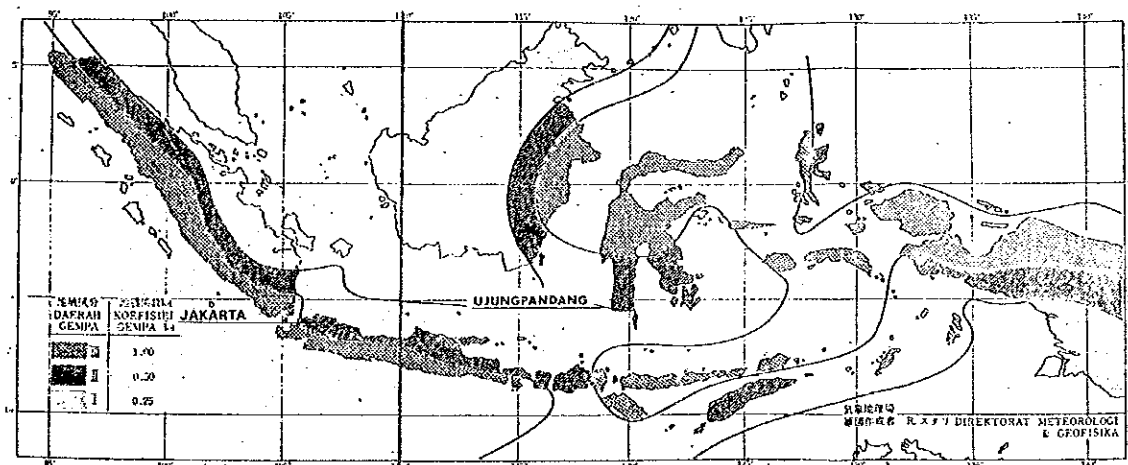


Fig. E-2

PERCEPATAN MAX. GEMPA BUMI DLM GRAVITASI
 SELAMA TH. 1900—1970. DI SULAWESI SELATAN

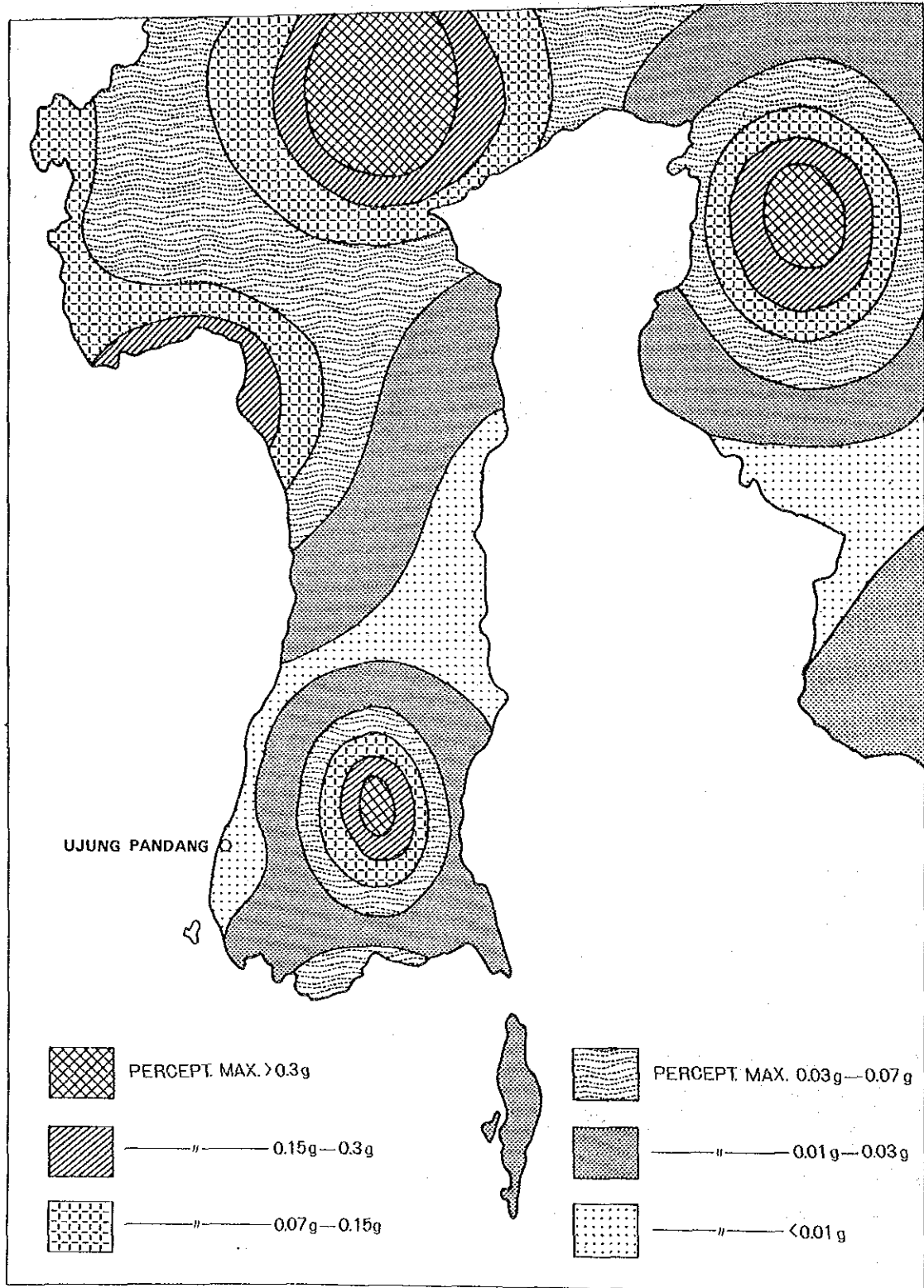


Fig. E-3

PERCEPATAN MAX. GEMPA BUMI DLM GRAVITASI
 SELAMA TH. 1900—1970. DI. JAWA BARAT

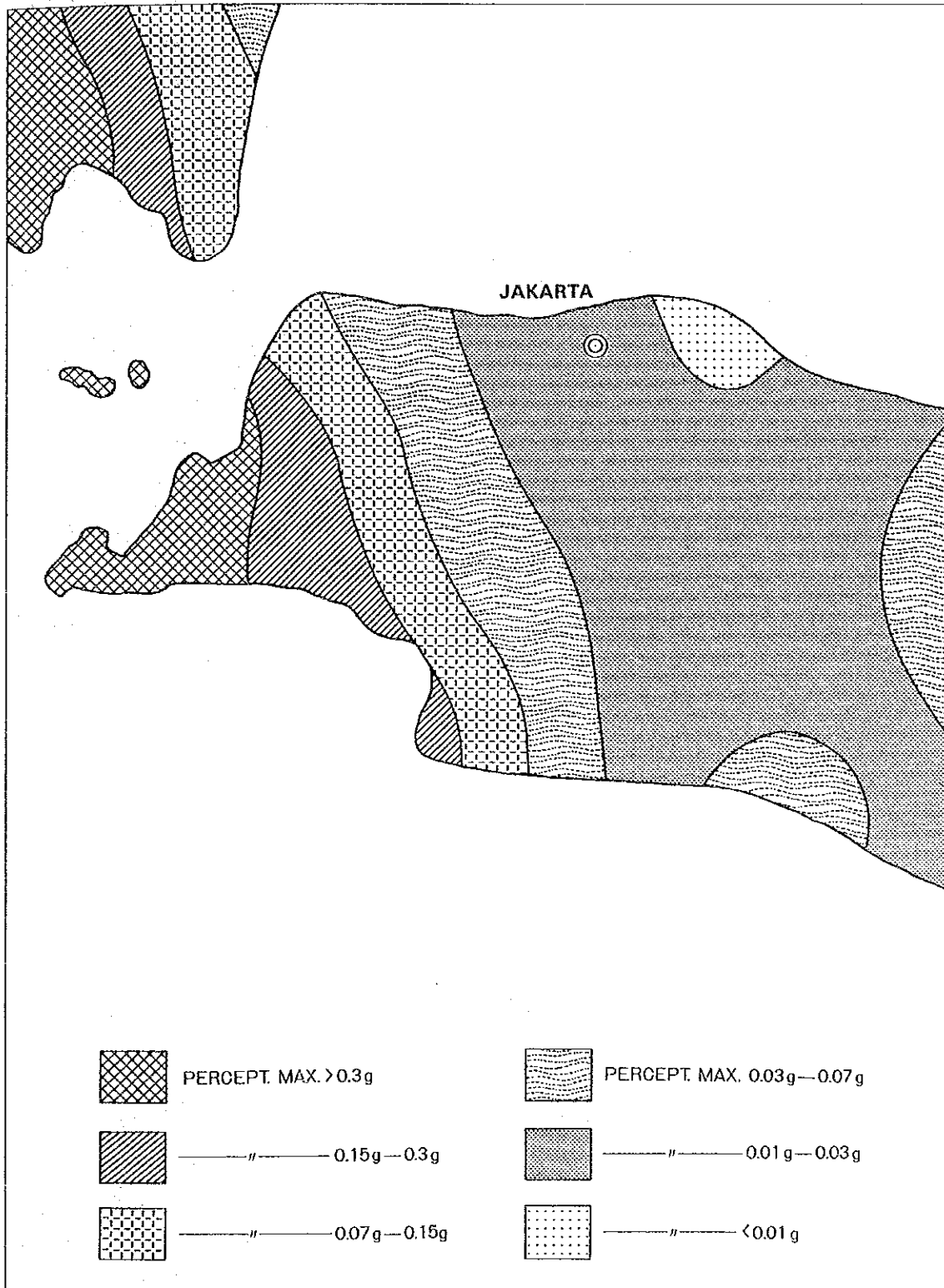


Fig. E—4

3-4-6 電力・電話施設

HNTS

建設予定地は都市計画区域内にある。建設予定地の北方1,500mに電力公社（GARDU INDUK PLNの変電所＝sub-station）があり、予定地周辺には種々の開発計画があるため、予定地の最寄りまで近い将来高圧線（12kV）が来ると考えられる。（すでに周辺地域まで配電線、電話局線の施設が整備されている）

電力公社（PLN）よりの受電は技術的には容易である。現時点でも各施設の多少の延長により、電力および電話局線の供給を受けることは可能である。しかし、全市の総発電容量（46MVA）は充分あるが、配電線不備のため停電が多く、非常用発電機の設置が必要であると考えられる。

電話局線は、現在予定地近くまで敷設されているが、あと数百メートルの延長と特別負担金が必要である。また、電話交換局を現在新設中（1980年竣工予定）であって、この交換局の竣工を待たなければ電話は使用できない。

DCNE

建設予定地が既存の市街地に位置するため、電力および電話施設とも整備されている。敷地前面道路に高圧架空電線が布設されているが、電圧が12kVであり、インドネシア国内配電施設拡充の一環として配電電圧を20kVに切換え中であるため、将来この配電線は撤去される予定である。このため、電力は同じ道路に埋設されている20kV地中配電線路より供給される予定である。

電話局線の引込みは技術的には可能であるが、敷地が一般サービスエリア外にあるため、特別負担金を必要とする。

3-4-7 給水排水施設

HNTS

現在、敷地より北方1,500mに東西に走る幹線道路 JL. PANAKKUKANG IV に市水給水本館（350mm）が敷設されており、KOMPLEKS PERUMNAS（集合住居）に供給されている。当計画敷地への市水供給は計画道路並みにKAMPUS SPG（州立教育大学）の進捗に係っている。KAMPAS SPG の開発が本計画より先行すれば、市水給水は問題なく可能である。

市水供給総能力は、以前250～300 l/secであったが、現在650 l/sec（乾期でも少なくとも600 l/sec）に拡充されている。将来は1,500 l/secに拡充される予定で、供給能力については問題ない。市水の供給は計画敷地周辺開発の進捗に係っているが、市水の供給を受けることが可能としても、非常用として井戸が必要である。市水と井水（非常用）との共用は可能である。ただし、井水は

深くなればなるほど塩分が多くなる傾向にあり、場合によっては濾過器、浄水装置が必要である。また、下水道汚水処理施設は設備されていないため、汚水処理は一般的に簡単な貯留槽（腐敗槽）を経て、地中に自然浸透させる方法がとられている。

DCNE

建設予定地近くには、市水供給施設はない。附近住民は井戸（深さ4～10m）により水を得ている。住民の話では、地下水位は年間を通じ水質も良好とのことであった。敷地周辺が住宅地であるため、敷地内で地下水を多量に汲み上げることにより、附近の井戸を枯渇させる恐れもある。このため、さく井に当たっては、位置および深さを十分に検討する必要がある。汚水処理はここでも一般的に簡単な貯留槽（腐敗槽）を経て地中に浸透させる方法がとられている。

3-4-8 燃 料

ウジュンパンダンならびにジャカルターチランダックには都市ガス設備がない。燃料としては、油（灯油、軽油）が一般的である。プロパンガス（L.P.G.）はあるが、値段が高く、国内流通機構に問題があり、安定した供給が望めないもので、一般的ではない。このため、厨房用および非常用発電機等の燃料は軽油とし、実習用としてプロパンガスが適当と考えられる。

3-5 全体計画

3-5-1 敷地の設定

HNTS

「イ」国側より提示されたマンガサ敷地（正式にはタマラテ地区マンガサ字ティドウン Tidung, Lingkungan Mangngasa, Kecamatan Tamalate, Kota Madya Ujung Pandang）約4.9haを計画の敷地として設定した。これは、現在民有地であるが、1979年3月15日までに「イ」国側によって購入される予定である。

DCNE

「イ」国側より提示されたチランダック敷地（正式には南ジャカルタ地区、チランダック、ウイジャヤ、クスマ通＝WIJAYA KUSUMA, CILANDAK, JAKARTA SELATAN）約13,500m²を計画の敷地として設定した。これは現在既に保健省の所有となっている。

3-5-2 敷地へのアプローチ

HNTS

市の中心部からは、現在北行、東行、南行の3本の国道が走っており、幹線道路として機能している。当敷地へは、この南行道路（JL. GOWA RAYA）より進入する方法と、JL. PANAKKUKANG IV から KOMPLEKS PERUMNAS に沿って新しく設けられる予定の幹線道路より進入する方法の2つがある。なお、この新しい幹線道路は、現在集合住宅周辺まで工事中であり、近い将来、当敷地近辺まで拡充される予定である。

DCNE

市の中心部からは、現在幾つかの国道が走っており、幹線道路として機能している。当敷地へは JL. R. S. FATMAWATI を南下し、途中 KEBA YORAN BARU を通過し、14 km 南下した点で東へ 500 m、WIJAYA KUSUMA 通りを行った所にあり、道路をはさんで南側にはジャカルタ看護教員養成校がある。

3-5-3 交通の便

HNTS

市中心部より敷地に至る交通手段は車しかない。乗合バスは、JL. GOWA RAYA を走っている。

DCNE

市中心部より敷地に至る公共手段は、JALAN R. S. FATMAWATI を通っている乗合バスがある。

3-5-4 建物の構成と配置

HNTS

南北方向、東西方向に正方形な敷地の中で、建物の配置は3つに分類されている。それらを ZONE 化すれば、

- | | |
|-------------|----------|
| I エントランスゾーン | アクセス、機械棟 |
| II 管理・教育ゾーン | 本館棟 |
| III 生活ゾーン | 生徒寮棟、食堂棟 |

これらは、基本的に東西軸上に適切に配置構成される。この構成は、下記の目的を達成するために設定された。

- (1) 建物群は、エントランスゾーン、管理教育ゾーン、生活ゾーンに大別、分離され、それぞれの機能が混在することなく構成される必要があったため配置図に示すような構成となった。それらの構成は、気候条件、眺望、進入路、設備関係の集約化、人の動きの集中と分散のリズム、動線の短縮化

など、物理的・心理的な面を考慮して決定された。

- (2) 東側広場は、2つの生徒寮に囲まれた広場となり、寮生の運動およびレクリエーション・スペースとして必要と考えられる。
- (3) 2つの本館棟に囲まれた中央の広場は、管理・教育用の広場として必要と考えられる。
- (4) 各建物へのサービスは、南および北側に走る構内車路よりなされることとなる。

DCNE

東西に長い敷地の中で、西側部分には現在池がある。また将来の道路拡張等を考え、現況の道路より8m後退した壁面線を設定する必要があった。建物配置は、本施設が生徒寮棟を含まないことから1つにまとめられている。すなわち、管理・教育ゾーンである。

これらは、基本的に南北軸上に、2つの本館棟が配置構成される。この構成は下記の目的を達成するために設定された。

- (1) 建物群は、1つの管理・教育ゾーンにまとめられる必要があったため、配置図に示すような構成となった。その構成は、気候条件、眺望、周囲の条件、進入路、動線の短縮化など、物理的・心理的な面を考慮して決定された。
- (2) 2つの本館棟に囲まれた中央の広場は、管理・教育用の広場として必要と考えられる。
- (3) 建物群の西側には、寮建設の用地を確保した。

3-6 建築計画

3-6-1 平面計画

基本的に、棟の両端に上下のサーキュレーション用の階段と、設備施設を配置する。廊下は、全体構成の「内側」に向け、生徒教員の連帯感を視覚的にも強化できるように努めた。また、教室・寮室等の基本寸法から設定した2,250mモジュールを最小単位として柱間隔などを決定する。これは将来の間仕切変更等のフレキシビリティにも有効となる。

HNTS

(1) 機械棟

エントランスのための車寄せも兼ね、全体構成においても、設備の集中化を計っている。

(2) 本館棟

基本構想として、1階を管理諸室、2階を教室とする。実習用の諸ラボラトリーは、設備計画上から1階に計画されることが好ましい。教官室は1部屋につき2名の割合で計画した。

(3) 食堂棟

2つの生徒寮棟、ならびに2つの本館棟の中間に配置され、生徒・教員の食堂利用の便宜が考慮されている。

(4) 生徒寮棟

居住性を向上させるために、3人部屋を考慮する。娯楽室、洗濯、アイロン室等の諸室は、1階中心部に集中させる。食堂棟を挟んで男子生徒寮と女子生徒寮が配置される。

DCNE

(1) 本館棟

基本構想として、1階を管理諸室、2階を教室諸室とする。スタジオはその機能上、階高が2階分必要となるため、2階分吹抜のスタジオとした。実習用の諸ラボラトリーは、設備計画上から1階に計画されることが好ましい。機械室、カンティーン、キッチン等の諸室は1階に計画されている。2階のスペシャリストルームは、1部屋につき2名の割合で計画した。

3-6-2 構造計画

(1) 基本方針

- (イ) 主体構造は、鉄筋コンクリート造とし、構造形式はラーメン構造を主体として耐力壁をバランスよく配置する。
- (ロ) 地業形式は、土質調査結果にもとづき、鉄筋コンクリート造直接基礎（布基礎または総基礎）とする。
- (ハ) 過去の地震経歴は、概略前に述べたとおりで、Ujung Pandang, Jakartaとも、インドネシア全土で中程度以下の地域に属する。また過去の最大風速も15～20m/sec程度である。したがって、建物に作用する水平力は、日本に比較してかなり小さい値となり、耐震耐風設計上特に技術的な問題はない。
- (ニ) コンクリートの乾燥収縮熱応力、地震時の建物挙動、建物の不同沈下等を考慮して、必要に応じ適当な位置にExpansion Jointを設け、構造的には棟を分ける。
- (ホ) 構造材料、工法は、できる限り現地のものを採用する。

(2) 構造設計方針

本計画の構造設計は、インドネシアで現在行政指導されている施行規則を

基本として以下の方針に基づき行うこととする。

- (イ) 建物に作用する外力および仮定荷重の大きさは、上記施行規則を参考にし、現地の気象、地質、建物用途、施工の実情等を考慮して決定する。
- (ロ) 構造材料の許容応力度は、現地材料の実情を考慮して、日本建築学会の諸基準を準用する。
- (ハ) 応力計算、断面算定は、日本建築学会の諸基準に準拠して行う。

(3) 外力、荷重の決定

上記方針に基づき、建物に作用する外力および荷重は、基本的には以下のように設定する。

(イ) 積載荷重

建物の用途、室の種類および実情を考慮して、日本の基準法を準用する。なお、日本の建築基準法施行令による積載荷重を以下に示す。

単位：kg/cm²

室の種類	床用	大梁・柱用	地震用
一般居室	180	130	60
教室	230	210	110
事務室・研究室	300	180	80
集会場(固定席)	300	270	160
集会場(その他)	360	330	210
倉庫	400以上	300以上	200以上
車庫	550	400	200

(ロ) 地震力

地震震度 $K = 0.1$

(ハ) 風圧力

日本に比較してかなり小さくて、地震力以上になることはない。

(ニ) 地耐力

土質調査結果に基づき以下のようにする。

$$q_a = 5.0 + rh \quad (\text{ton/m}^2)$$

q_a : 長期許容地耐力 (ton/m²)

r : 土の単位体積重量 (ton/m³)

h : 地表面からの深さ (m)

3-6-3 仕上材料

(1) 主要外部仕上

屋根 ウレタン樹脂塗膜防水の上に波型石綿板ぶき

外 壁 コンクリート化粧打放し
 建 具 木製サッシュ・オイルステン・ボイル油仕上・トーマイガラス
 またはルーバーウィンドウ
 犬走り ルーバー廻り（本館・生徒寮）および中庭は砂利敷き

(2) 主要内部仕上

廊 下 床 テラゾーブロック、2階はセメント防水下地とする。
 壁 コンクリート化粧打放し、一部ペンキ仕上
 天井 コンクリート化粧打放し
 一般室 床 テラゾーブロック
 壁 モルタルペンキまたは化粧合板張り、ただし、軸部はコ
 ンクリート化粧打放し
 天井 コンクリート化粧打放し、ペンキ仕上、一部合板ペンキ
 仕上
 スタジオ 床 カーペット敷
 壁 有孔合板ペンキ仕上、グラスウール下地とする。
 天井 有孔合板ペンキ仕上、グラスウール下地とする。
 倉 庫 床 コンクリート・フロアペンキ仕上
 壁 コンクリート化粧打放し
 天井 石綿板ペンキ仕上
 便 所 床 モザイク状タイル、1階はセメント防水下地、2階はウ
 レタン樹脂塗膜防水下地とする。
 壁 半磁器タイル
 天井 石綿板ペンキ仕上

3-7 設備計画

3-7-1 基本方針

設備計画の基本は、施設全体の基本方針（3-3）に従うものであるが、特に下
 記事項を考慮し計画する。

- (1) 医療関連施設であるため、建物に付帯する設備も衛生面を特に考慮する。
- (2) 施設完成後の維持管理が容易となるよう計画する。
- (3) 施工方法は、できるかぎり現地の工法を採用する。

本施設に使用する資機材は、保守が容易にできるよう、標準品または一般市販
 品を採用する。一般機器は、現地製品または輸入により、ほとんど現地調達が

可能であるが、消耗品は予備品として、また故障しやすい機器および定期整備の必要があるものについては、予備機的な形で対処する。

3-7-2 電気設備計画

(1) 電力供給設備

電力供給設備は、「イ」国側負担工事とする。教育用機材に、電圧変動をきらう電気機器が多いため、高圧による受電および本施設専用の変電設備が必要である。供給を受ける電圧、容量は下記とする。

電 圧	3φ4W	380/220V
容 量	H.N.T.S	70～80 kW
	D.C.N.E	70～80 kW

工事区分は、変圧器までをインドネシア(P.L.N)側工事とし、変圧器2次側以降を本工事とする。

(2) 非常用発電機設備

電力会社(P.L.N)よりの受電線が停電した場合に、必要最少限の負荷に給電する。

発電機容量および電圧	約 100 kVA 3φ4W 380/220V
起動方式	起動電動機による手動起動
発電機対象負荷	消火ポンプ、揚水ポンプ、照明の一部 厨房施設

ただし、ジャカルタは、電力事情が良好であり、停電が少ないため、D.C.N.Eには非常用発電機は設置しない。

(3) 幹線動力設備

発電機室または機械室内配電盤に「イ」国側負担分の変電設備より受電し、各動力制御盤、電灯分電盤へ供給する。供給電圧は下記とする。

動力用	3φ3W	380V
電灯、コンセント用	1φ2W	220V

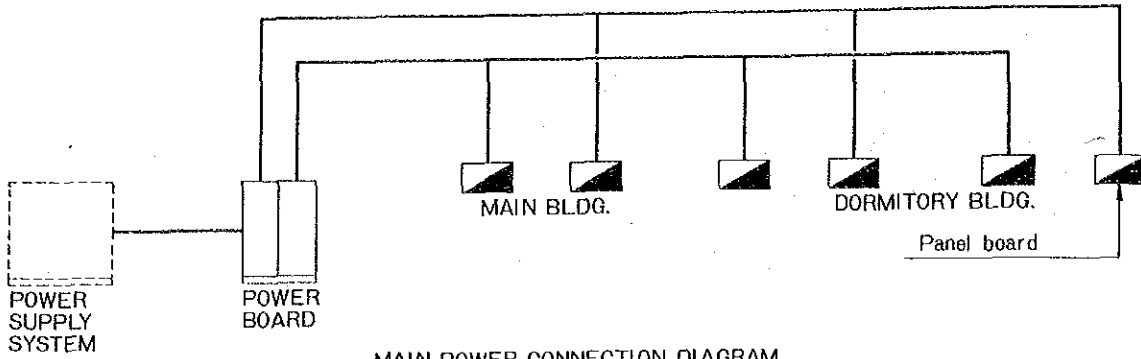
実習用機器等において、3φ220Vまたは1φ100Vの電源を必要とする場合は、機器の最寄りに小型変圧器を設けることにより対処する。

(4) 電灯、コンセント設備

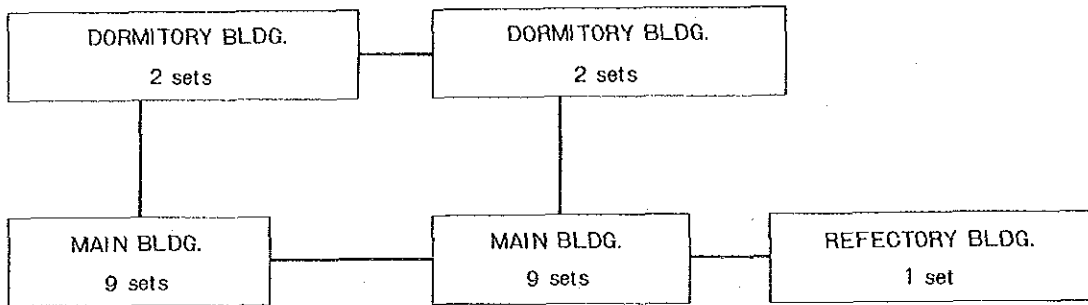
照明は、蛍光灯を主体とし、部分的に白熱灯あるいは水銀灯を使用する。照明器具形式は直付型を原則とし、照度は概ね下記程度とする。

教官室・事務室	200～300 lx
教室・実習室	200～300 lx
寮室 (H.N.T.Sのみ)	150～200 lx

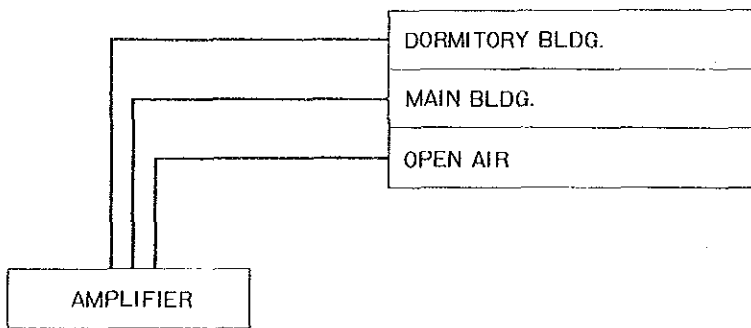
Parts in broken line (---) show the work which must be done by the Indonesian Government.



MAIN POWER CONNECTION DIAGRAM



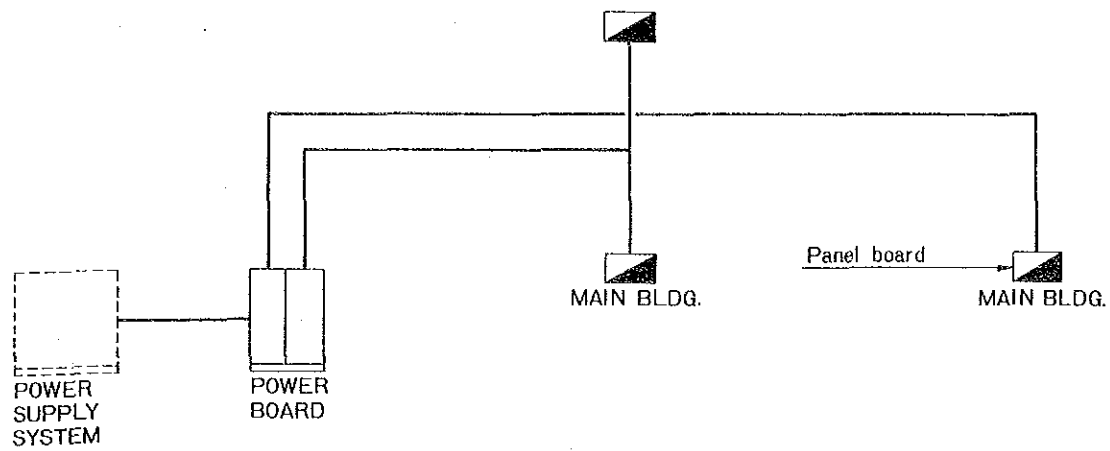
INTERPHONE SYSTEM DIAGRAM



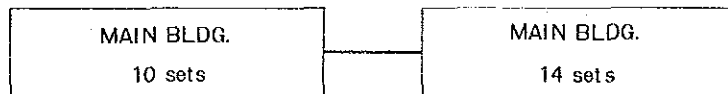
PUBLIC-ADDRESS SYSTEM DIAGRAM

UJUNG PANDANG (HNST)

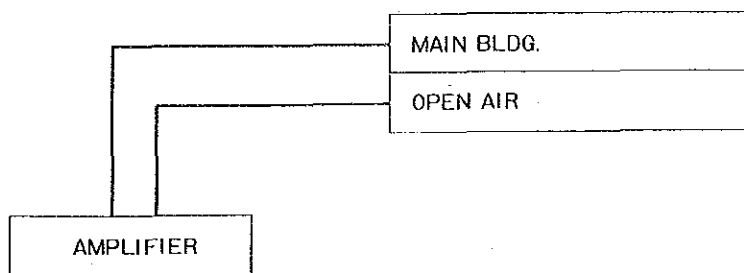
Parts in broken line (---) show the work which must be done by the Indonesian Government.



MAIN POWER CONNECTION DIAGRAM



INTERPHONE SYSTEM DIAGRAM



PUBLIC-ADDRESS SYSTEM DIAGRAM

JAKARTA (DCNE)

スタジオ (D.C.N.Eのみ) カラーのテレビ撮影が可能な
照度 (1,500 ~ 2,000 lx)

- (5) 放送設備
構内呼出, 伝達用として放送設備を設ける。アンプは事務所に設置し, 時計装置と連動させた時報 (チャイム) 装置を組み込む。
- (6) インターホン設備
構内連絡用として, インターホン設備を設ける。相互同時通話方式とし, 設置台数は 20 台程度で計画する。
- (7) 電話設備
外部連絡用として, 釦電話設備を設ける。設置台数は 5 台程度とし, 校長室, 教官室, 事務室等に設ける。
- (8) 非常警報設備
非常時に備え, 非常警報ベル設備を設ける。主装置は事務所に設置し, 押釦およびベルは消火栓の近くに設ける。
- (9) テレビ共聴設備
娯楽室, 食堂等にテレビアンテナアウトレットを設ける。
- (10) 実習機器用電気設備
看護実習室, 化学実習室, 調理実習室, Audio-Visual Room 等の実習機器に必要なとする電気設備を設ける。

3-7-3 冷房・換気設備計画

- (1) 冷房設備
校長室, 教官室, 専門家室, 講師控室等にウインドクーラー方式を, スタジオおよび視聴覚教室にはパッケージ方式の冷房設備を設ける。
設計条件は, 外気温度 35℃, 室内 26℃とし, スタジオにおける暗騒音値は NC 30dB 程度に計画する。
- (2) 換気設備
厨房, 食堂, 看護実習室, 化学実習室, 栄養実習室, 便所等に機械換気設備を計画する。
教官室, 事務室, 会議室, 寮室等の換気は, ガラリによる自然換気によるものとする。
なお, 機械換気は, 壁付型換気扇を採用する。

3-7-4 給排水衛生設備計画

- (1) 給水設備

受水槽までの給水施設は「イ」国側工事負担分とするが、給水施設方式は下記による。

H.N.T.S 市水道 (150 l/min, 1 系統) と
深井戸 (150 l/min, 1 カ所) の共用とする。

D.C.N.E 深井戸 (100 l/min, 1 カ所)

なお、深井戸の場合には、水質検査の結果によっては濾過装置が必要である。水質検査、濾過装置を含めて「イ」国側工事負担とする。

受水槽の容量は、収容人員から想定で下記の容量とし、受水槽は消火用水槽を兼用する。

受水槽

H.N.T.S 20 m³ (10 m³ × 2 基)

D.C.N.E 10 m³ (5 m³ × 2 基)

ただし、受水槽の容量は、井戸の取水量を前記の容量と想定したものであり、さく井後の結果により容量変更の必要がある。

槽材質は、F.R.P 製とし、給水管は鋼管または塩ビ管にて計画する。

受水槽よりの給水方式は圧力タンク方式とし、高架水槽は設けない。

(2) 給湯設備

実習室、湯沸室には湯沸用コンセントを用意し、特に給湯設備は計画しない。

(3) 排水設備

汚水処理施設は「イ」国側工事負担分とし、各所便器より汚水処理施設への接続までを計画する。

雑排水は排水会所へ放流する。

排水管は薬液排水も考慮し、塩ビ管にて計画する。

化学実習室関係の薬液排水浄化処理については、現段階では使用薬品の種類および量が不明なため、本工事においては貯留槽を設けておく程度とする。

なお、使用薬品の種類および量により浄化処理が必要となる場合は、その中和装置は「イ」国側工事負担分とする。

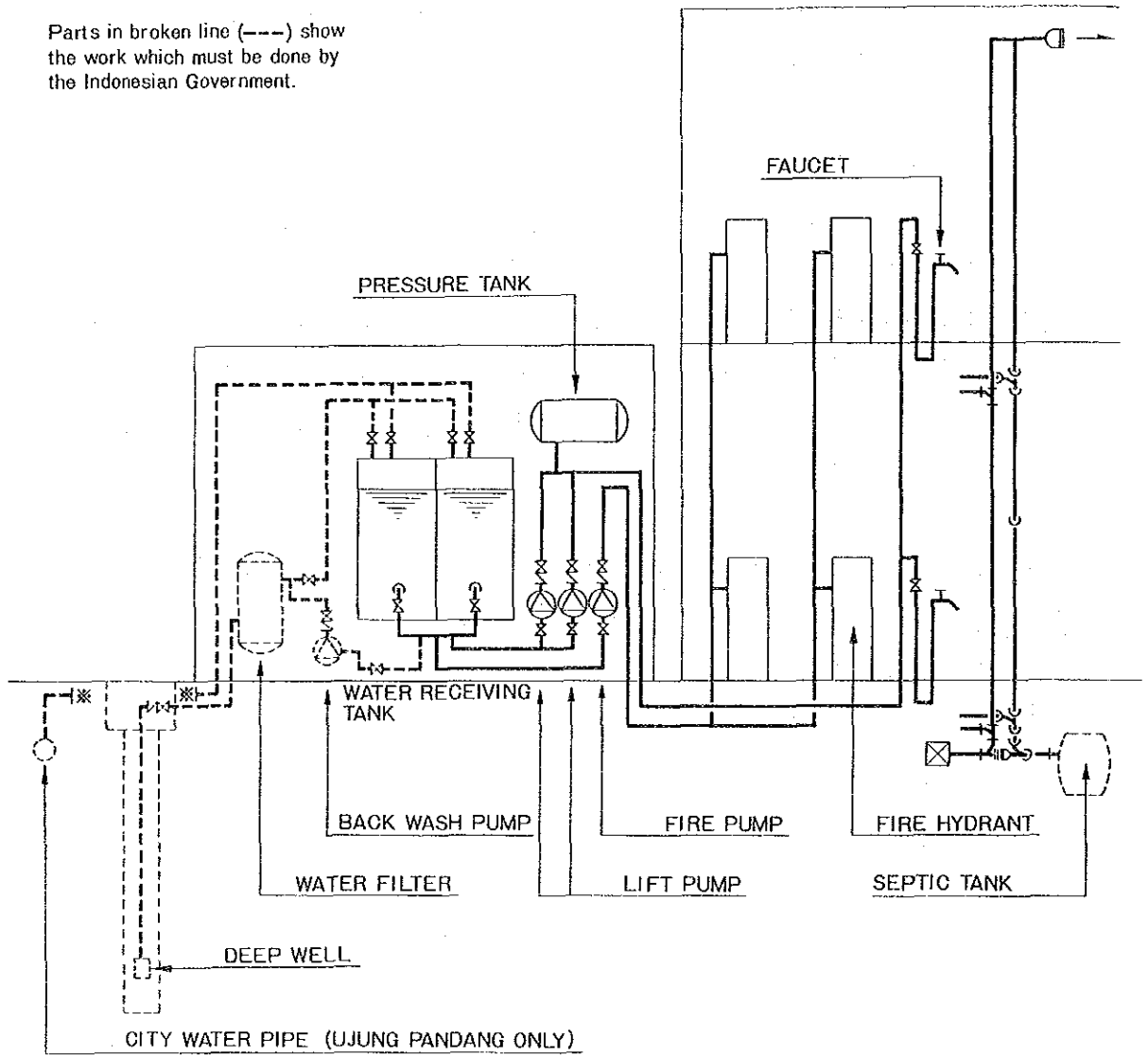
(4) 消化設備

消化設備として、屋内消化栓設備を計画する。

消化ポンプは受水槽近辺に設置し、各消化栓にて消化ポンプの起動を可能にする。

消化ポンプの能力は 750 l/min 程度にて計画する。

Parts in broken line (---) show the work which must be done by the Indonesian Government.



WATER SUPPLY AND FIRE EXTINGUISHING FLOW DIAGRAM.

(5) 衛生器具設備

大便器は洋風（洗浄タンク方式）を原則とし、必要個所に和風大便器を計画する。

小便器は壁掛型とする。

その他洗面・シャワー・洗濯用設備を計画する。

(6) 厨房設備

厨房設備は、H.N.T.Sのみ計画する。

生徒・教官・職員の給食用厨房設備を計画する。

厨房用燃料は軽油とする。

厨房機器としては下記程度計画する。

(イ) 給湯器（食器洗浄用）

(ロ) 電気冷蔵庫

(ハ) レンジ

(ニ) フライヤ

(ホ) 流し、テーブル類

(7) 医療器具設備

器具に必要な給排水配管は器具接続までを計画する。

ただし、一式教育機材工事に入ることとする。

3-8 建設範囲

3-8-1 予算に含まれる工事

(1) 建物

<u>HNTS</u>	6棟	本館棟	2棟
		生徒寮棟	2棟
		食堂棟	1棟
		機械棟	1棟
<u>DCNE</u>	2棟	本館棟	2棟

(2) 建物に付属する外部工事

正門

建物廻りの犬走り

中庭砂利敷工事

各種排水接続工事（最寄会所まで）

(3) 建物に付属する諸設備

(4) 教育機材

看護実習用機材

化学実習用機材

調理実習用機材

視聴覚教育用機材

これらに伴う特殊設備

これら教育機材の内訳は次表のとおりである。

List of Major Educational Equipment

HNTS IN UJUNG PANDANG

<u>Item</u>	<u>Quantity</u>
<u>a. Audio-visual equipment</u>	
Projector, 16 mm	1
Projector, 8 mm	1
Projector, Overhead	2
Projector, Slide	1
Tape Deck	1
Video Tape Recorder	2
Color Television sets	4
Sound System	1 set
TV Camera, Portable	1 set
Cassette Tape Recorder	3
<u>b. Nutrition laboratory equipment</u>	
Kitchen Tables	5
Sink	1
Refrigerator	1
<u>c. Chemical laboratory equipment</u>	
Laboratory Benches	5
Refrigerator	1

DCNE IN JAKARTA

<u>Item</u>	<u>Quantity</u>
<u>a. Audio-visual equipment</u>	
Projector, 16 mm	1
Projector, 8 mm	1
Projector, Overhead	2
Projector, Slide	1
Tape Deck	1
Video Tape Recorder	2
Video Editing Machine	1 set
Video Control Console	1 set
Audio Control Console	1 set
Color Television Sets	4
Sound System	1 set
Lighting Equipment for Studio	1 set
Cassette Tape Recorder	3
Record Player	1
Monitor TV set	1 set
<u>b. Chemical laboratory equipment</u>	
Laboratory Benches	2
Refrigerator	1

MINISTRY OF HEALTH
REPUBLIC OF INDONESIA

Nr. : 1214/Um/Diklat/Kes/78.

Jakarta, November 14, 1978

Encls :

Subject :

Mr. Nobuya Ueda

Architect for Japanese Survey Team

RE: Nurse Education Facilities Project

Dear Sir :

We have received the records of discussions held between the Japanese Survey Team and the Indonesian counterparts as to the technical matters for design and construction of the buildings during October 23, 1978 to November 14, 1978.

Sincerely yours,

Acting Director,

Center for Education and Training

Ministry of Health





(Sutia Anggadihardja)

NIP. 140009950.

3-8-2 予算に含まれない工事

- (1) 敷地購入および既存建家・障害物の解体・撤去工事
- (2) 整地工事（埋立工事を含む）
- (3) 取付道路整備工事
- (4) 電力引込工事（配電盤以降は本工事内）
- (5) 上水道引込工事およびさく井工事（受水槽以降は本工事内）
- (6) 排水工事（最寄会所接続までは本工事内）
- (7) 下水処理施設工事（浄化層接続までは本工事内）
- (8) 敷地内舗装（正面車廻しは本工事内）および駐車場
- (9) 造園，植栽工事，塀工事，外灯工事
- (10) 家具，装飾工事
- (11) 教官宿舎，守衛所
- (12) 電話引込工事
- (13) 敷地測量
- (14) 建築確認申請

予算に含まれない工事の概要

予算に含まれる工事のうち、(2)建物に付属する外部工事部分と予算に含まれない工事の全体を区別して図示する。

なお、予算に含まれない工事のうち、主要なものは基本設計調査時に「イ」国保健省・教育実習センター所長代理の Sutia Anggadihardja 氏に討議録の一部として提出され了承されている（November 14, 1978）。したがって、ここでは重複を避けるために、それらの項目のみを掲載する。

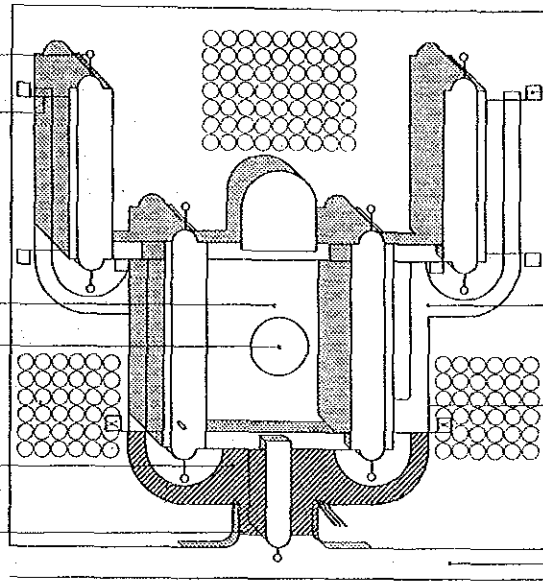
- (1) Access Road
- (2) Reclamation
- (3) Pavement within the Site
- (4) Drainage
- (5) Fence Work
- (6) Landscaping
- (7) Exterior Lighting
- (8) Power Supply
- (9) Water Supply
- (10) Telephone Wiring
- (11) Septic Tanks

その他, Land Aquisition, Furniture and Decorative Work, Building Permit Fee 等についても MINUTES にて「イ」国側工事範囲として規定されている.

WORKS INCLUDED

WORKS NOT INCLUDED

- DRAINAGE (UP TO BASIN)
- PIPING TO SEPTIC TANK
- COURT YARD PAVEMENT
- COURT YARD PAVEMENT
- FRONT YARD PAVEMENT (SHADOWED)
- GATE/GATEWAY



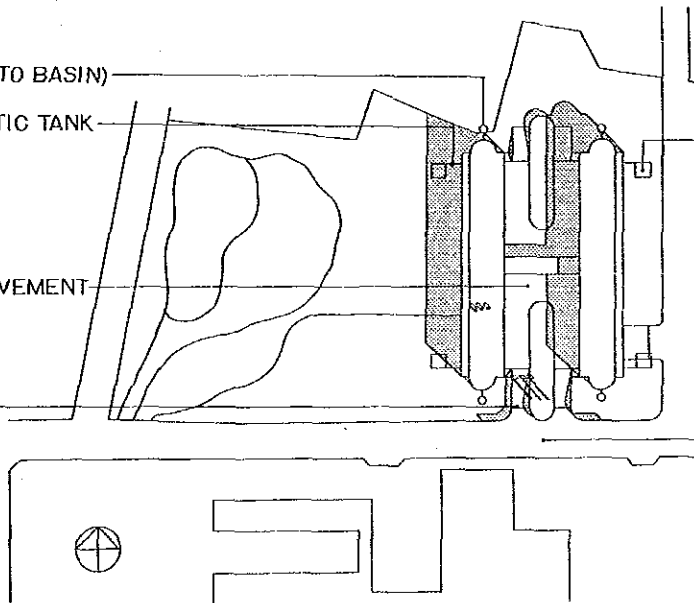
- SEPTIC TANKS
- FENCE WORK
- PAVEMENT AND SERVICE ROAD
- DRAINAGE SYSTEM
- POWER SUPPLY
- WATER SUPPLY
- ACCESS ROAD

- BUILDINGS
- EDUCATIONAL EQUIPMENT

- EXTERIOR LIGHTING
- TELEPHONE WIRING
- FURNITURE AND OTHER DECORATIVE WORK
- LAND ACQUISITION
- TOPOGRAPHIC SURVEYING
- SOIL TEST
- DEMOLITION AND LEVELLING WORK
- LANDSCAPING

UJUNG PANDANG ; HNTS

- DRAINAGE (UP TO BASIN)
- PIPING TO SEPTIC TANK
- COURT YARD PAVEMENT
- GATE/GATEWAY



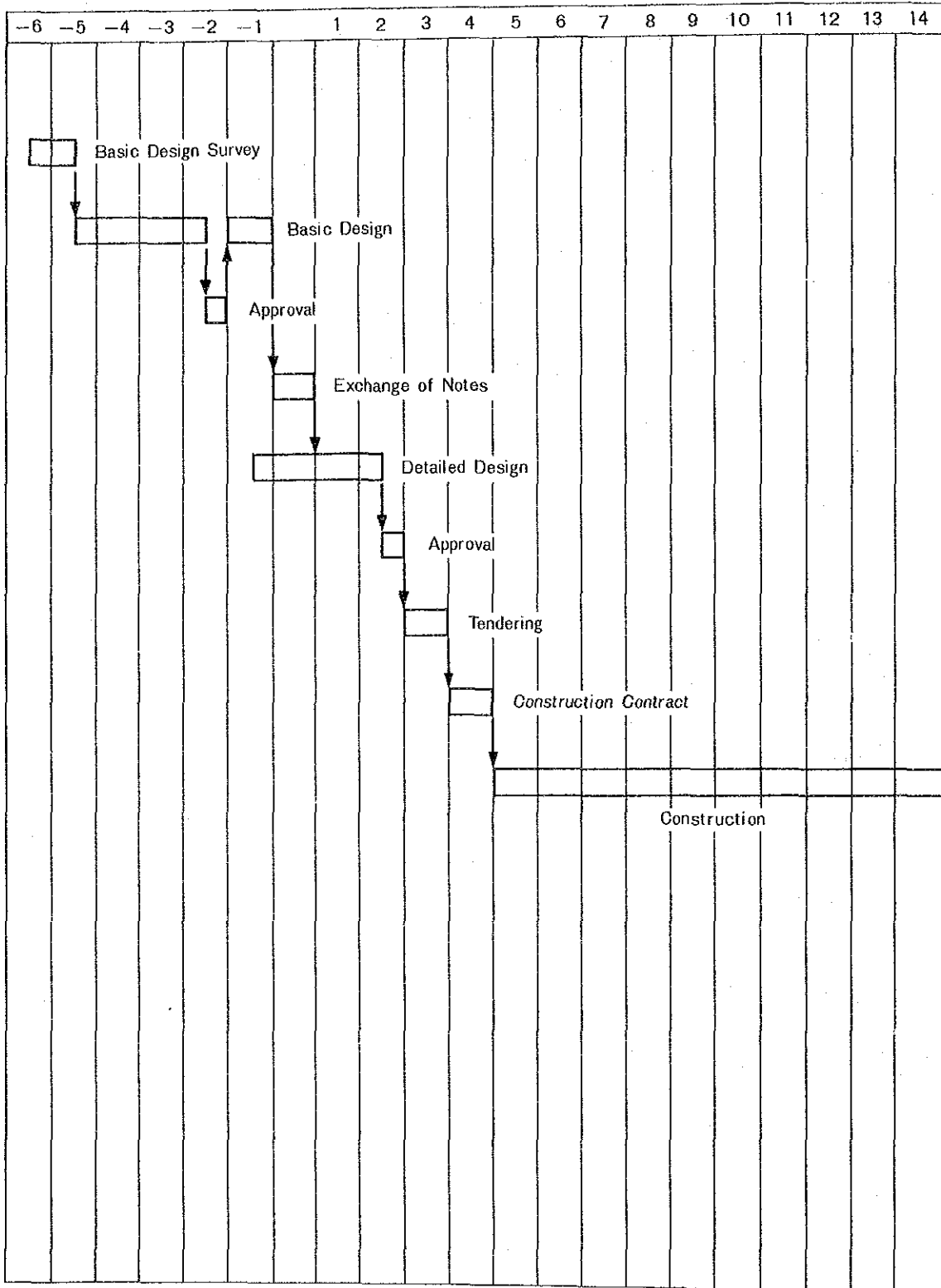
- SEPTIC TANKS
- DRAINAGE SYSTEM
- POWER SUPPLY
- WATER SUPPLY
- FENCE WORK
- ACCESS ROAD

- BUILDINGS
- EDUCATIONAL EQUIPMENT

- EXTERIOR LIGHTING
- TELEPHONE WIRING
- FURNITURE AND OTHER DECORATIVE WORK
- LAND ACQUISITION
- TOPOGRAPHIC SURVEYING
- SOIL TEST
- DEMOLITION AND LEVELLING WORK
- LANDSCAPING

JAKARTA ; DCNE

SCHEDULE



3-10 概算工費

1. 建 物	¥ 1,196,000,000.
2. 教育機材	¥ 149,000,000
3. 設計監理費	¥ 155,000,000

¥ 1,500,000,000

本概算工費は1978年11月1日現在のデータに基づいて算出されたものである。

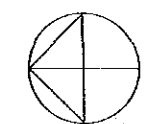
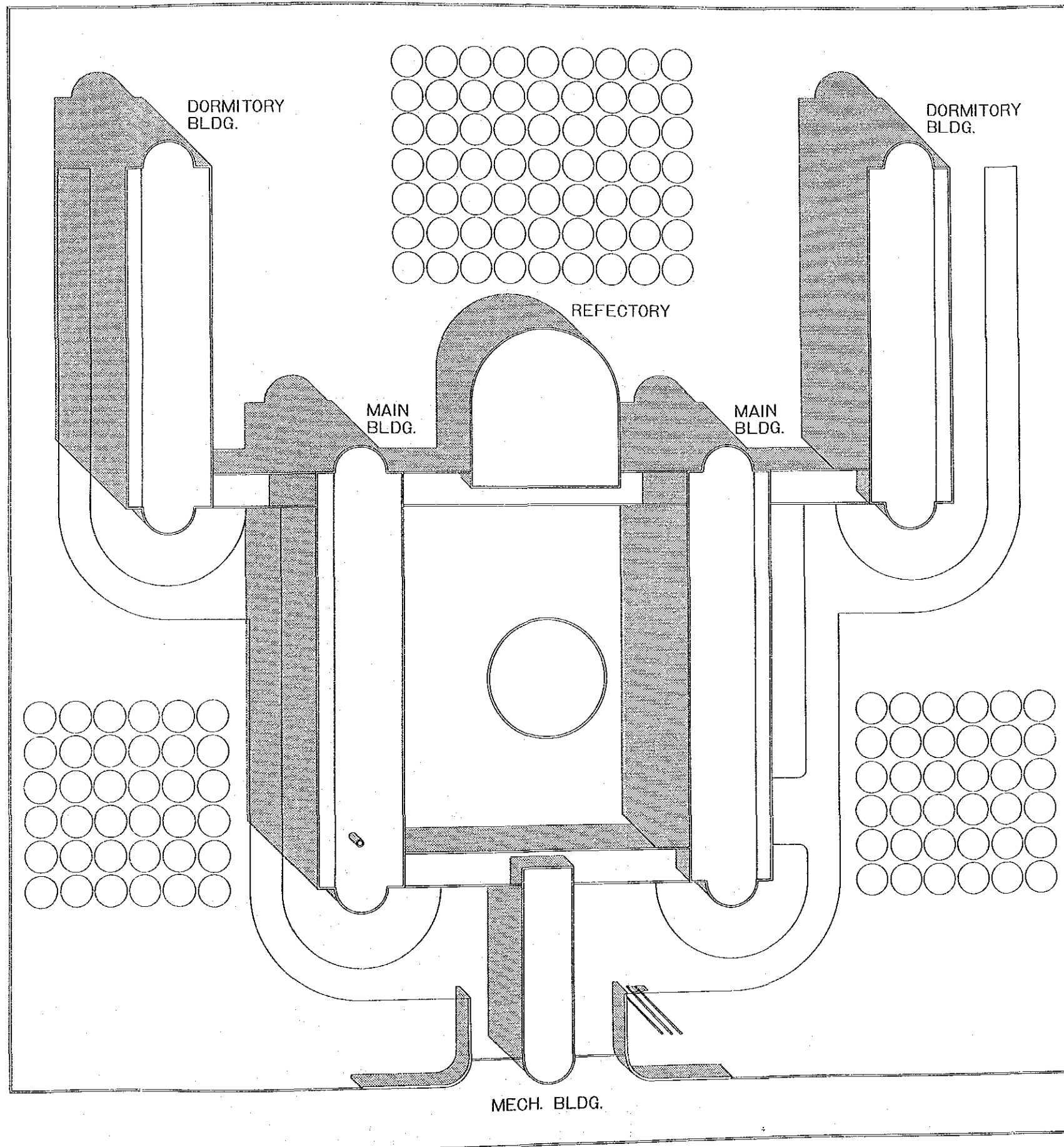
3-11 基本設計図

(1) HNTS

1. SITE PLAN
2. 1st FLOOR PLAN
3. 2nd FLOOR PLAN
4. ELEVATION & SECTION
5. ELECTRICAL & PLUMBING/1st FLOOR
6. ELECTRICAL & PLUMBING/2nd FLOOR
7. PERSPECTIVE (前頁掲載)

(2) DCNE

1. SITE PLAN
2. 1st FLOOR PLAN
3. 2nd FLOOR PLAN
4. ELEVATION & SECTION
5. ELECTRICAL & PLUMBING/1st FLOOR
6. ELECTRICAL & PLUMBING/2nd FLOOR
7. PERSPECTIVE (前頁掲載)



1:600 SITE PLAN

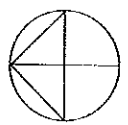
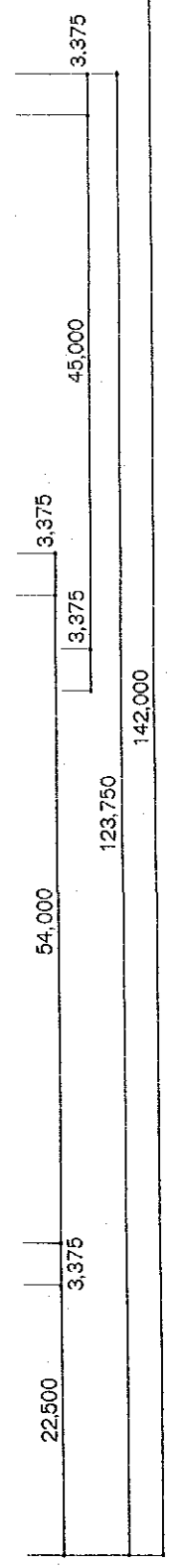
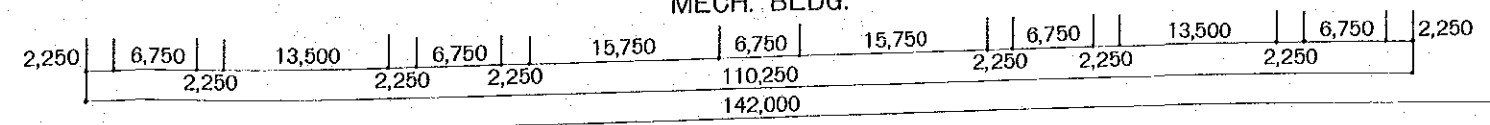
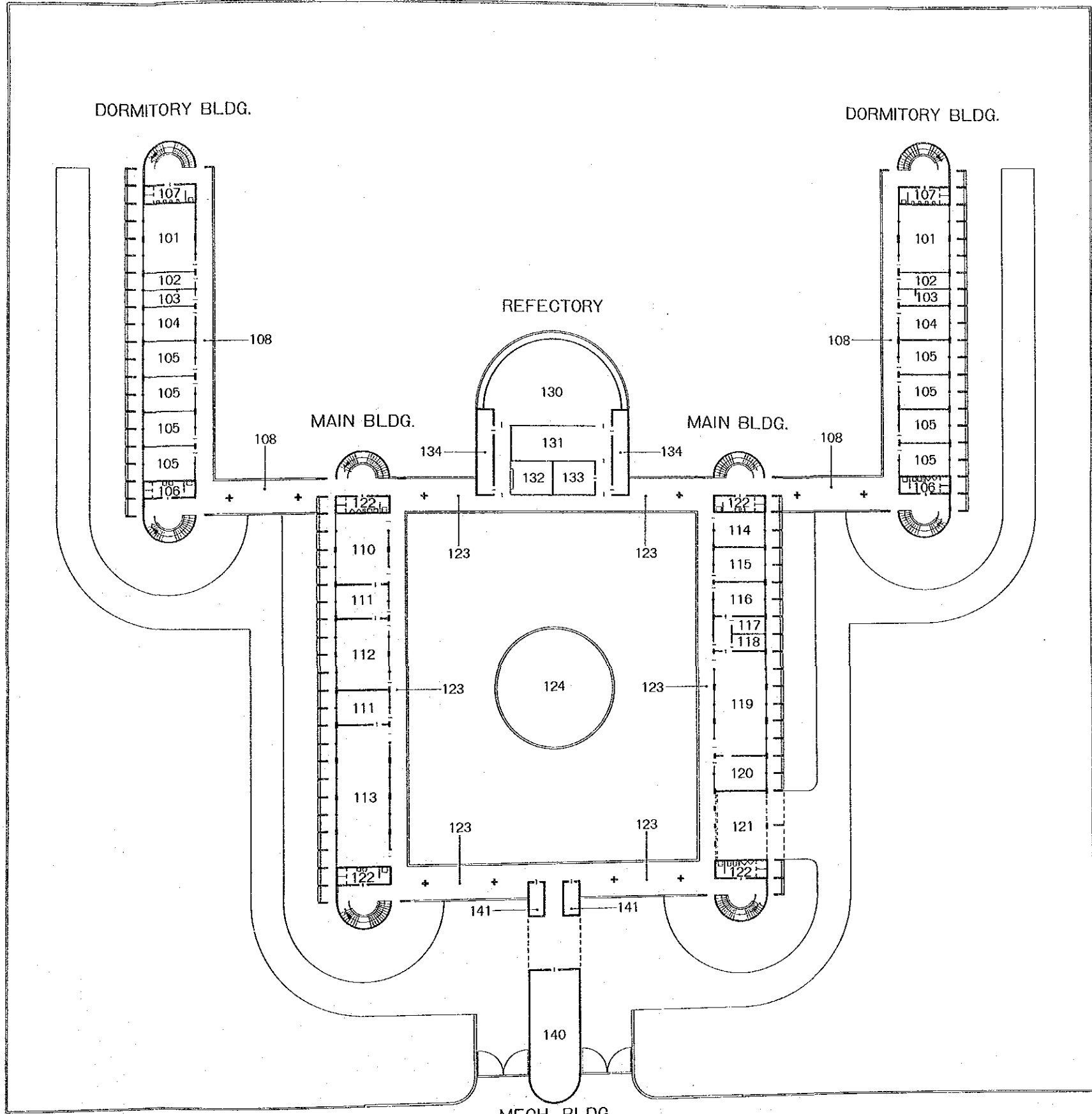
UJUNG PANDANG : HNTS

- DORMITORY BLDG. 101 DORMITORY INSPECTOR'S ROOM
- 102 STORAGE
- 103 LAUNDRY/IRONING ROOM
- 104 RECREATION ROOM
- 105 BED ROOM (TRIPLE OCCUPANT)
- 106 LAVATORY
- 107 SHOWER ROOM
- 108 CORRIDOR

- MAIN BLDG. 110 NUTRITION LABORATORY
- 111 PREPARATION ROOM
- 112 CHEMICAL LABORATORY
- 113 NURSING LABORATORY
- 114 CONFERENCE ROOM
- 115 PART-TIME LECTURORS' ROOM
- 116 REPRODUCTION ROOM
- 117 RECORD FILING ROOM
- 118 COUNSELING ROOM
- 119 ADMINISTRATION OFFICE
- 120 DIRECTOR'S OFFICE
- 121 GARAGE
- 122 LAVATORY
- 123 CORRIDOR
- 124 COURTYARD

- REFECTORY 130 DINING ROOM
- 131 KITCHEN
- 132 GANTEEN
- 133 STAFF ROOM
- 134 STORAGE

- MECHANICAL BLDG. 140 MECHANICAL ROOM
- 141 STORAGE



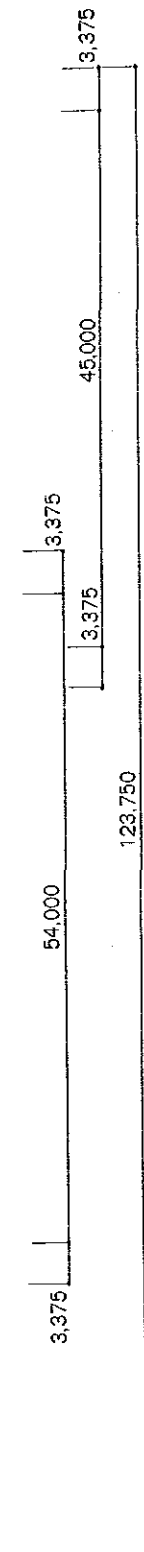
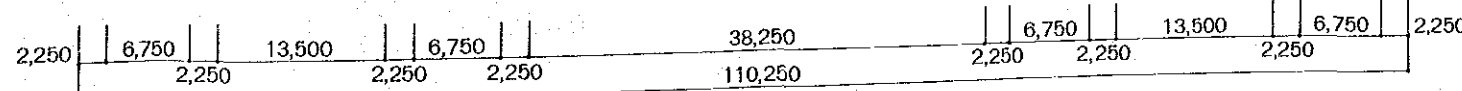
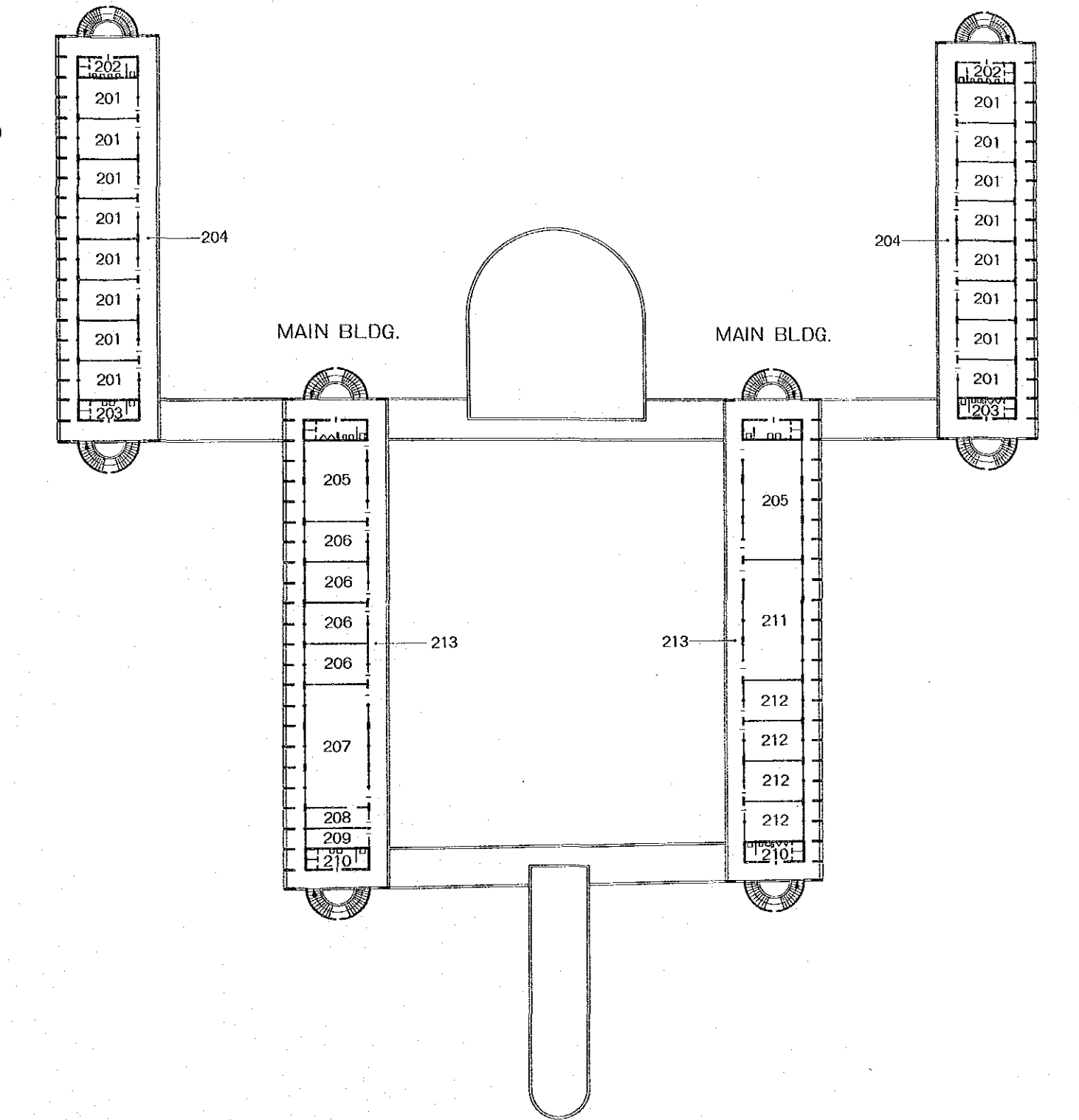
1 : 600 1st FLOOR

UJUNG PANDANG : HNTS

- DORMITORY BLDG. 201 BED ROOM (TRIPLE OCCUPANT)
- 202 SHOWER ROOM
- 203 LAVATORY
- 204 CORRIDOR
- MAIN BLDG. 205 GLASS ROOM
- 206 SEMINAR ROOM
- 207 AUDIO VISUAL CLASS ROOM
- 208 PREPARATION ROOM
- 209 MECHANICAL ROOM
- 210 LAVATORY
- 211 LIBRARY
- 212 INSTRUCTORS' ROOM (DOUBLE OCCUPANT)
- 213 CORRIDOR

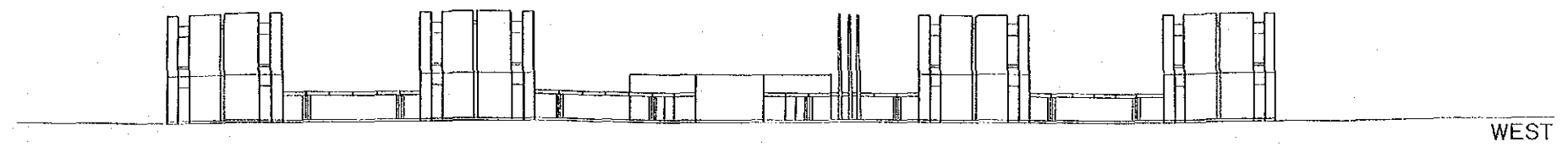
DORMITORY BLDG.

DORMITORY BLDG.

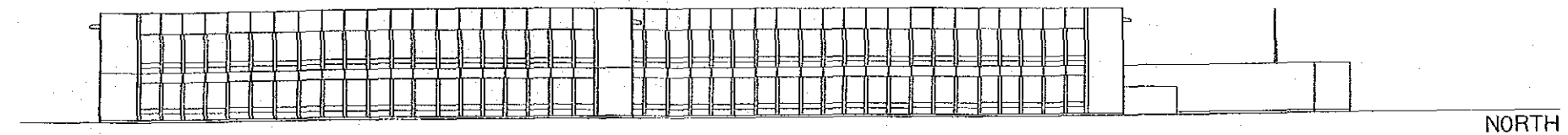


1: 600 2nd FLOOR

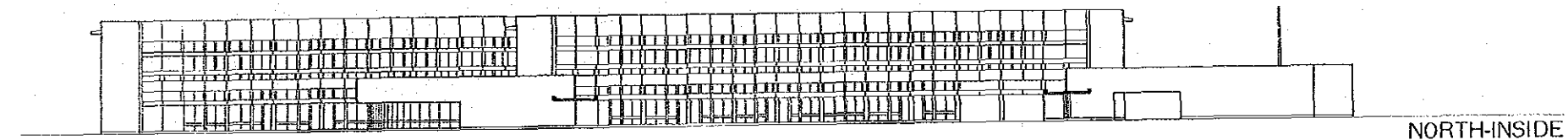
UJUNG PANDANG ; HNTS



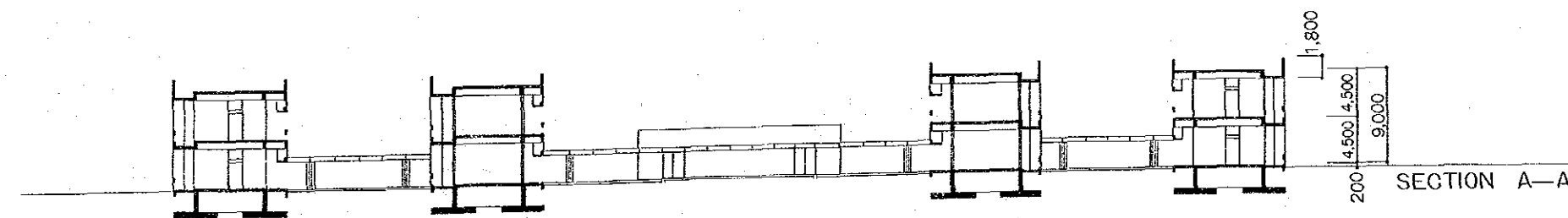
WEST



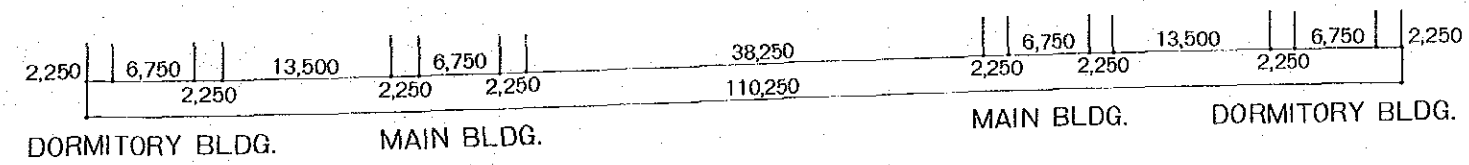
NORTH



NORTH-INSIDE



SECTION A-A



1:600 ELEVATION & SECTION

UJUNG PANDANG : HNTS





- DORMITORY BLDG. 101 DORMITORY INSPECTOR'S ROOM
- 102 STORAGE
- 103 LAUNDRY/IRONING ROOM
- 104 RECREATION ROOM
- 105 BED ROOM (TRIPLE OCCUPANT)
- 106 LAVATORY
- 107 SHOWER ROOM
- 108 CORRIDOR

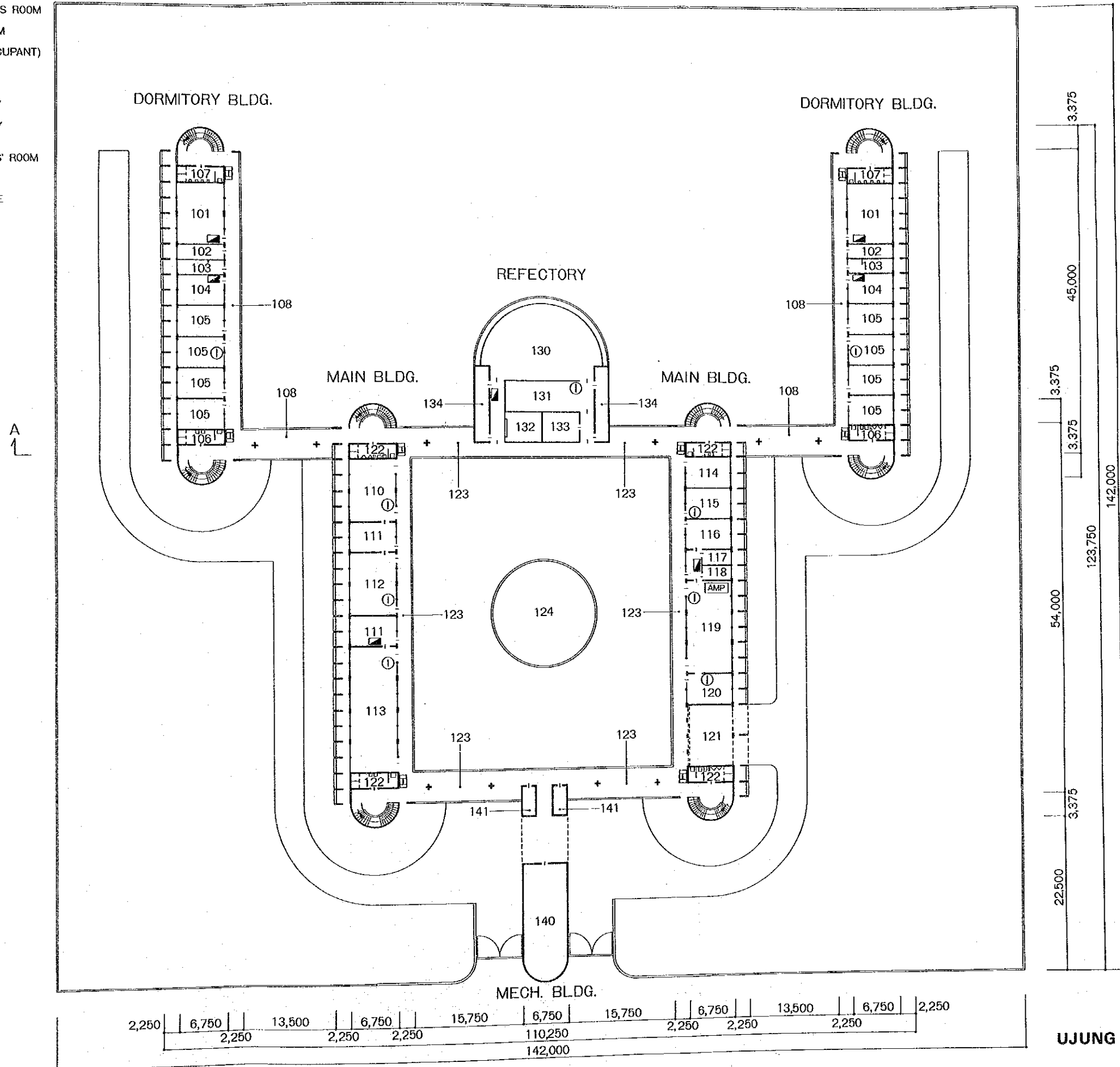
- MAIN BLDG. 110 NUTRITION LABORATORY
- 111 PREPARATION ROOM
- 112 CHEMICAL LABORATORY
- 113 NURSING LABORATORY
- 114 CONFERENCE ROOM
- 115 PART-TIME LECTURORS' ROOM
- 116 REPRODUCTION ROOM
- 117 RECORD FILING ROOM
- 118 COUNSELING ROOM
- 119 ADMINISTRATION OFFICE
- 120 DIRECTOR'S OFFICE
- 121 GARAGE
- 122 LAVATORY
- 123 CORRIDOR
- 124 COURTYARD

- REFECTORY 130 DINING ROOM
- 131 KITCHEN
- 132 CANTEEN
- 133 STAFF ROOM
- 134 STORAGE

- MECHANICAL BLDG. 140 MECHANICAL ROOM
- 141 STORAGE

LEGEND

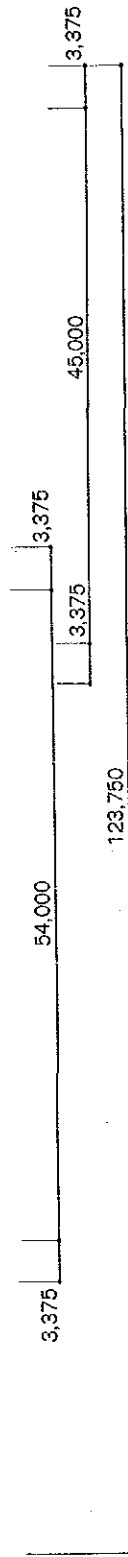
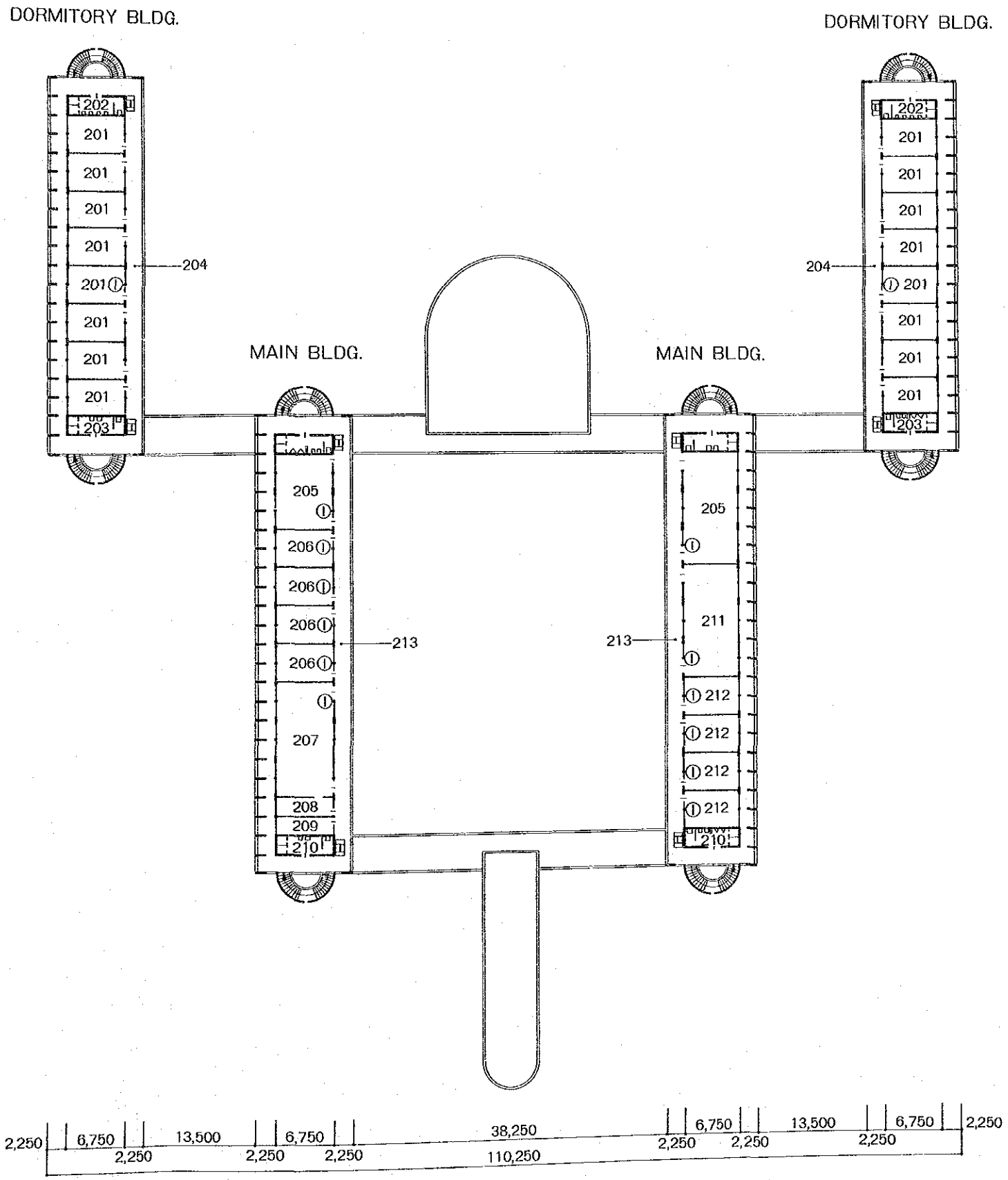
-  CABINET PANEL
-  AMPLIFIER
-  INTERPHONE
-  FIRE HYDRANT



1:600 1st FLOOR

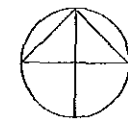
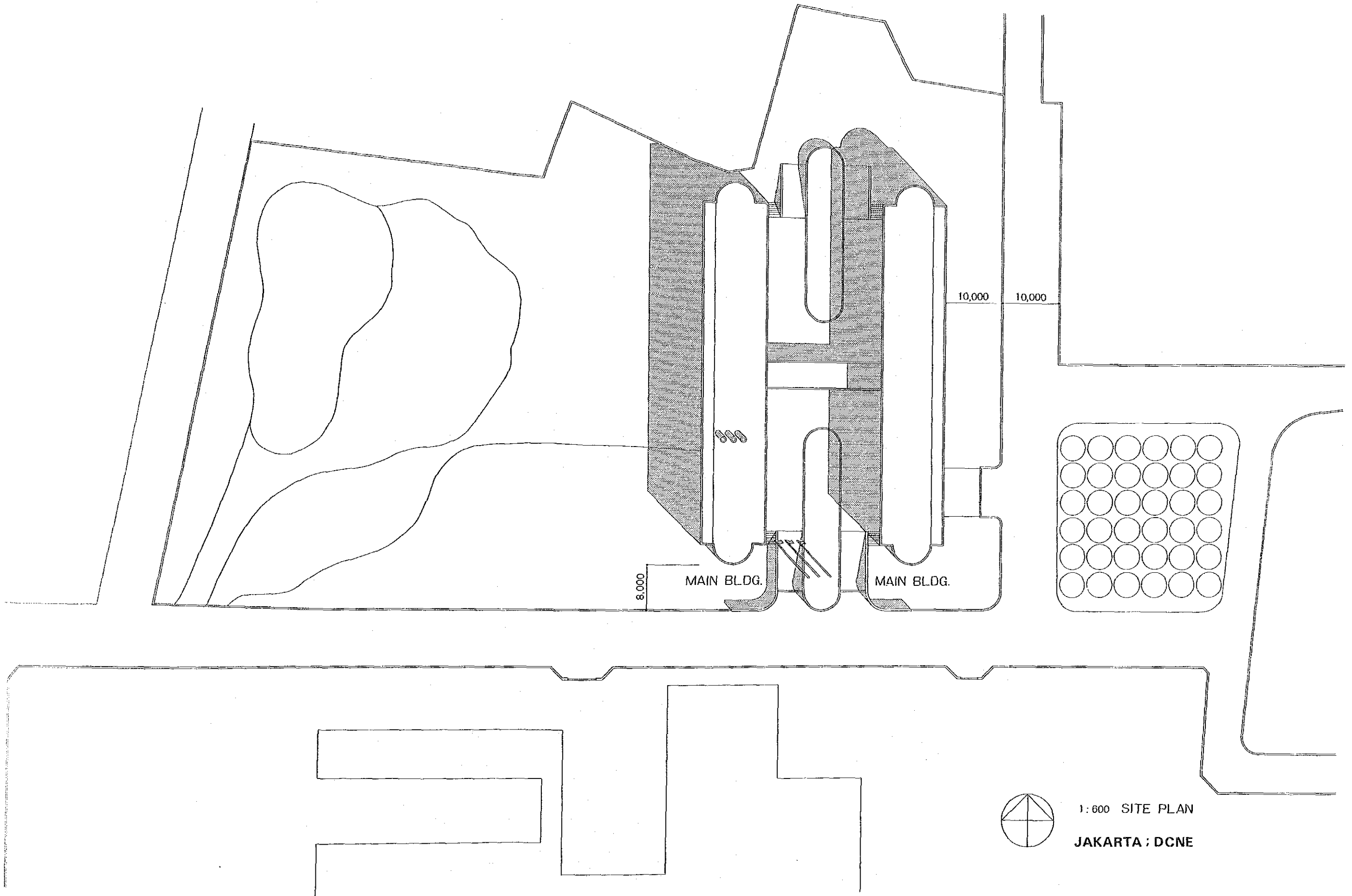
UJUNG PANDANG : HNTS

- DORMITORY BLDG. 201 BED ROOM (TRIPLE OCCUPANT)
- 202 SHOWER ROOM
- 203 LAVATORY
- 204 CORRIDOR
- MAIN BLDG. 205 GLASS ROOM
- 206 SEMINAR ROOM
- 207 AUDIO VISUAL CLASS ROOM
- 208 PREPARATION ROOM
- 209 MECHANICAL ROOM
- 210 LAVATORY
- 211 LIBRARY
- 212 INSTRUCTORS' ROOM (DOUBLE OCCUPANT)
- 213 CORRIDOR



1: 600 2nd FLOOR

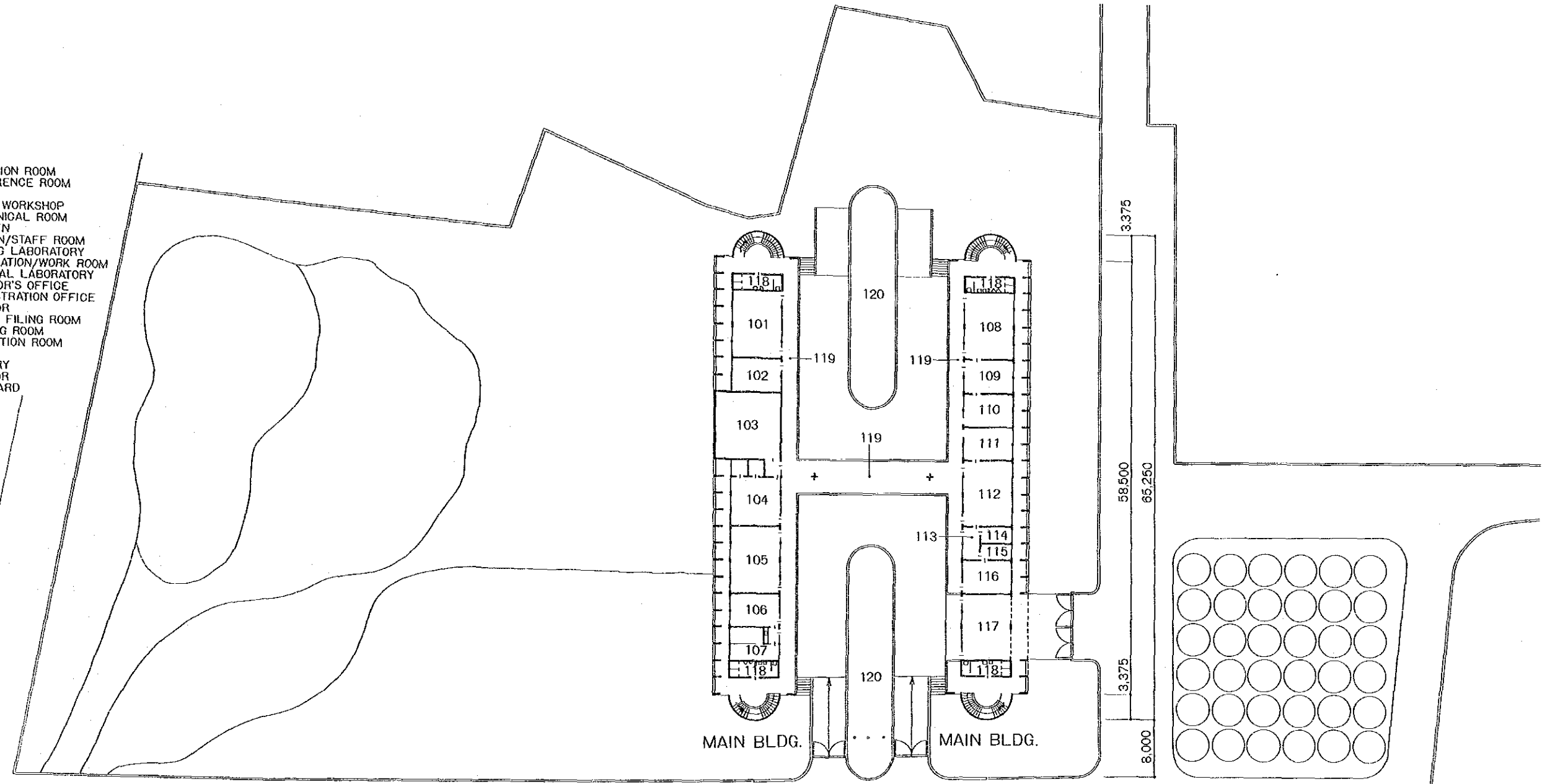
UJUNG PANDANG : HNTS



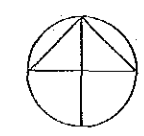
1:600 SITE PLAN

JAKARTA : DCNE

- MAIN BLDG.
- 101 EXHIBITION ROOM
 - 102 CONFERENCE ROOM
 - 103 STUDIO
 - 104 STUDIO WORKSHOP
 - 105 MECHANICAL ROOM
 - 106 CANTEEN
 - 107 KITCHEN/STAFF ROOM
 - 108 NURSING LABORATORY
 - 109 PREPARATION/WORK ROOM
 - 110 CHEMICAL LABORATORY
 - 111 DIRECTOR'S OFFICE
 - 112 ADMINISTRATION OFFICE
 - 113 CORRIDOR
 - 114 RECORD FILING ROOM
 - 115 PRINTING ROOM
 - 116 PRODUCTION ROOM
 - 117 GARAGE
 - 118 LAVATORY
 - 119 CORRIDOR
 - 120 COURTYARD

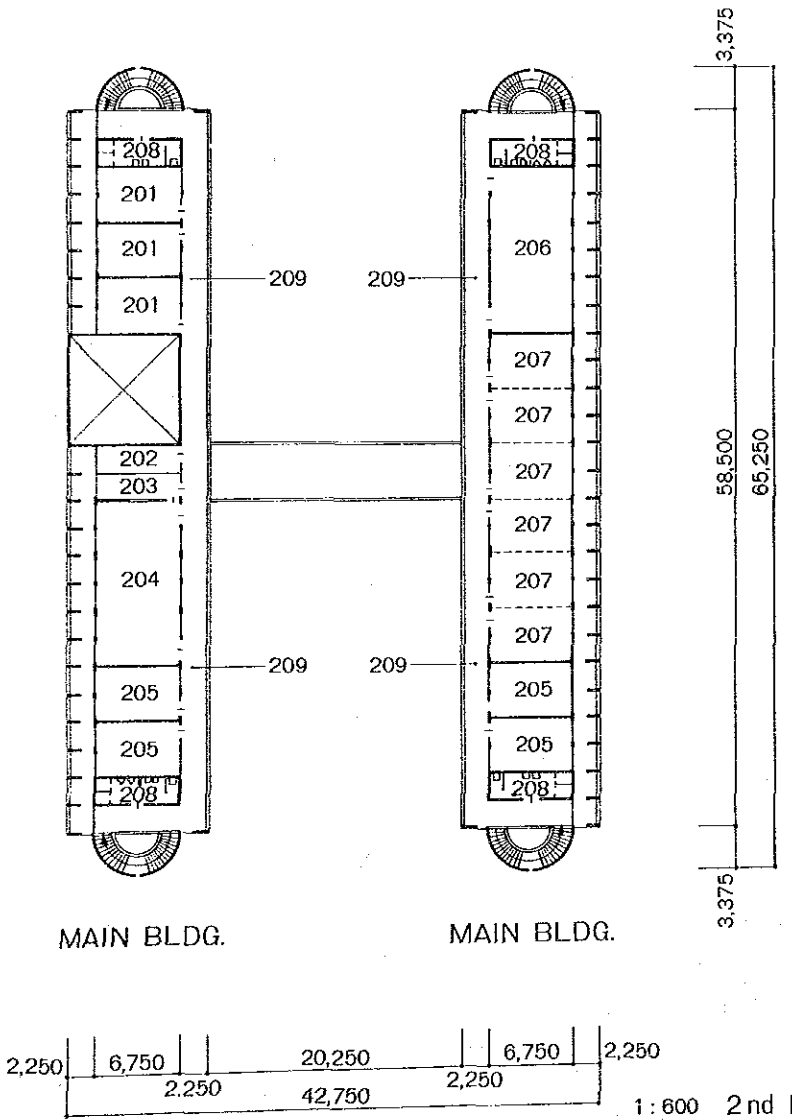


2,250	6,750	20,250	6,750	2,250	
	2,250	42,750	2,250	10,000	10,000

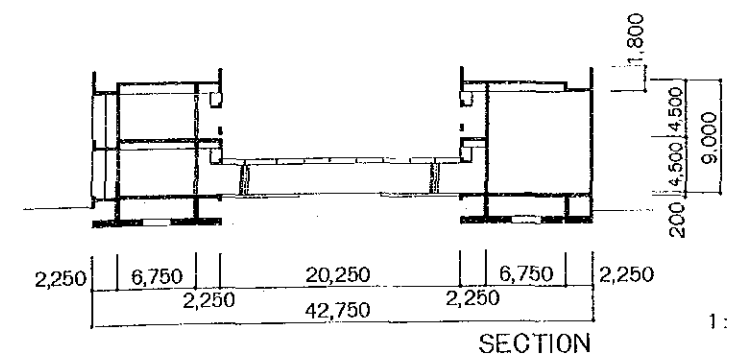
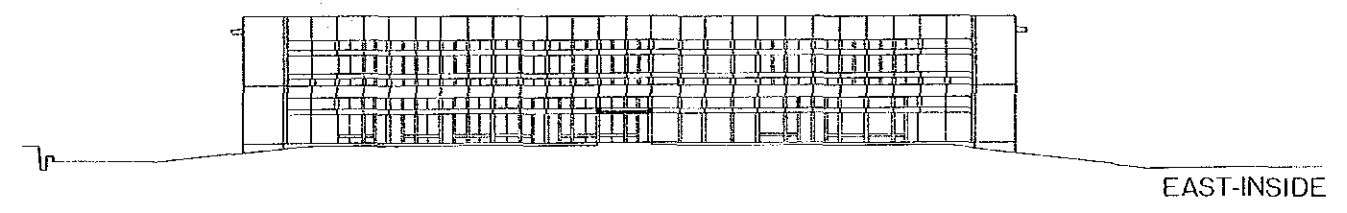
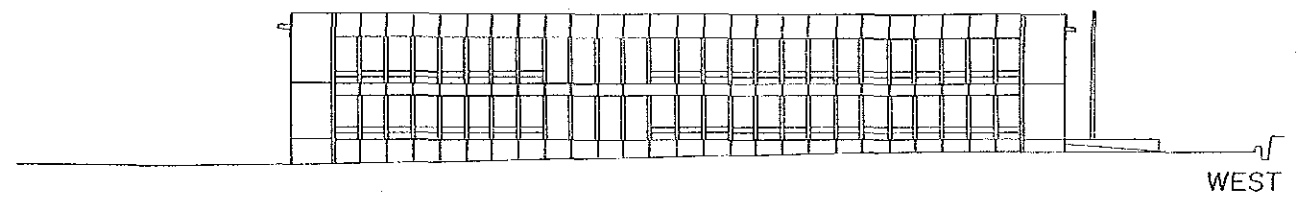
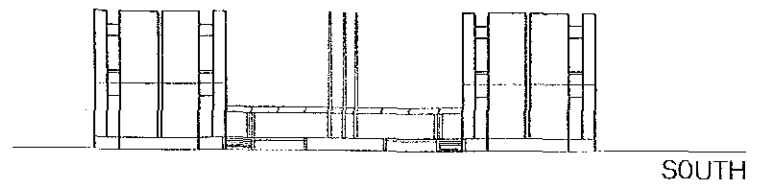


1:600 1st FLOOR
 JAKARTA ; DCNE

- MAIN BLDG. 201 NURSE EDUCATORS' ROOM
 202 MECHANICAL ROOM
 203 PROJECTOR ROOM
 204 AUDIO VISUAL ROOM
 205 SEMINAR ROOM
 206 LIBRARY
 207 SPECIALISTS' ROOM
 208 LAVATORY
 209 CORRIDOR



JAKARTA ; DCNE







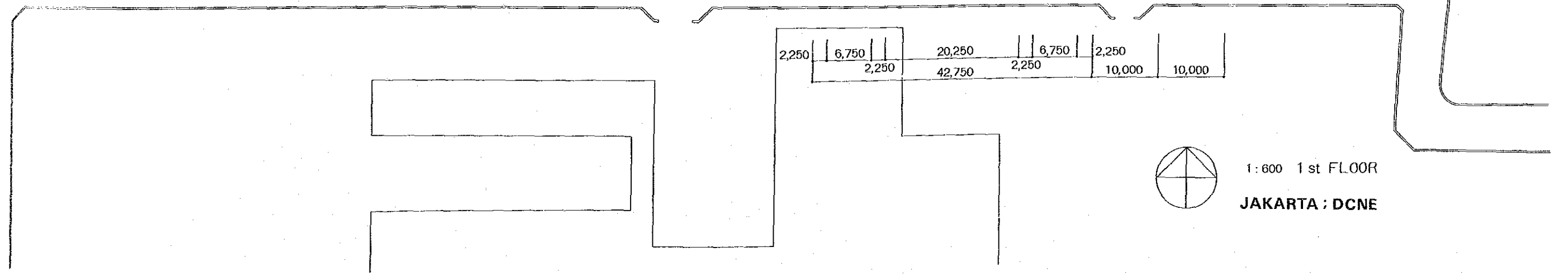
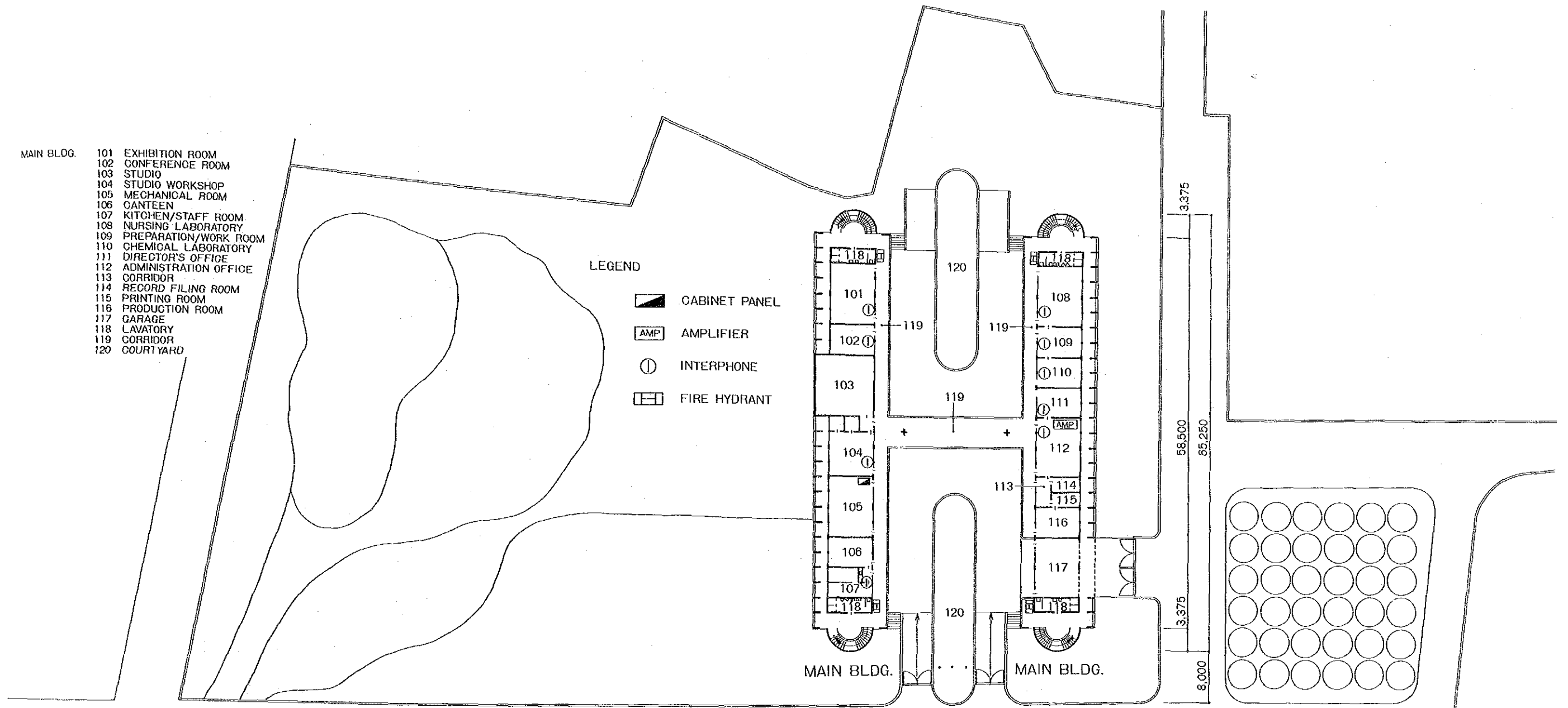
1:600 ELEVATION & SECTION

JAKARTA ; DCNE

- MAIN BLDG.
- 101 EXHIBITION ROOM
 - 102 CONFERENCE ROOM
 - 103 STUDIO
 - 104 STUDIO WORKSHOP
 - 105 MECHANICAL ROOM
 - 106 CANTEEN
 - 107 KITCHEN/STAFF ROOM
 - 108 NURSING LABORATORY
 - 109 PREPARATION/WORK ROOM
 - 110 CHEMICAL LABORATORY
 - 111 DIRECTOR'S OFFICE
 - 112 ADMINISTRATION OFFICE
 - 113 CORRIDOR
 - 114 RECORD FILING ROOM
 - 115 PRINTING ROOM
 - 116 PRODUCTION ROOM
 - 117 GARAGE
 - 118 LAVATORY
 - 119 CORRIDOR
 - 120 COURTYARD

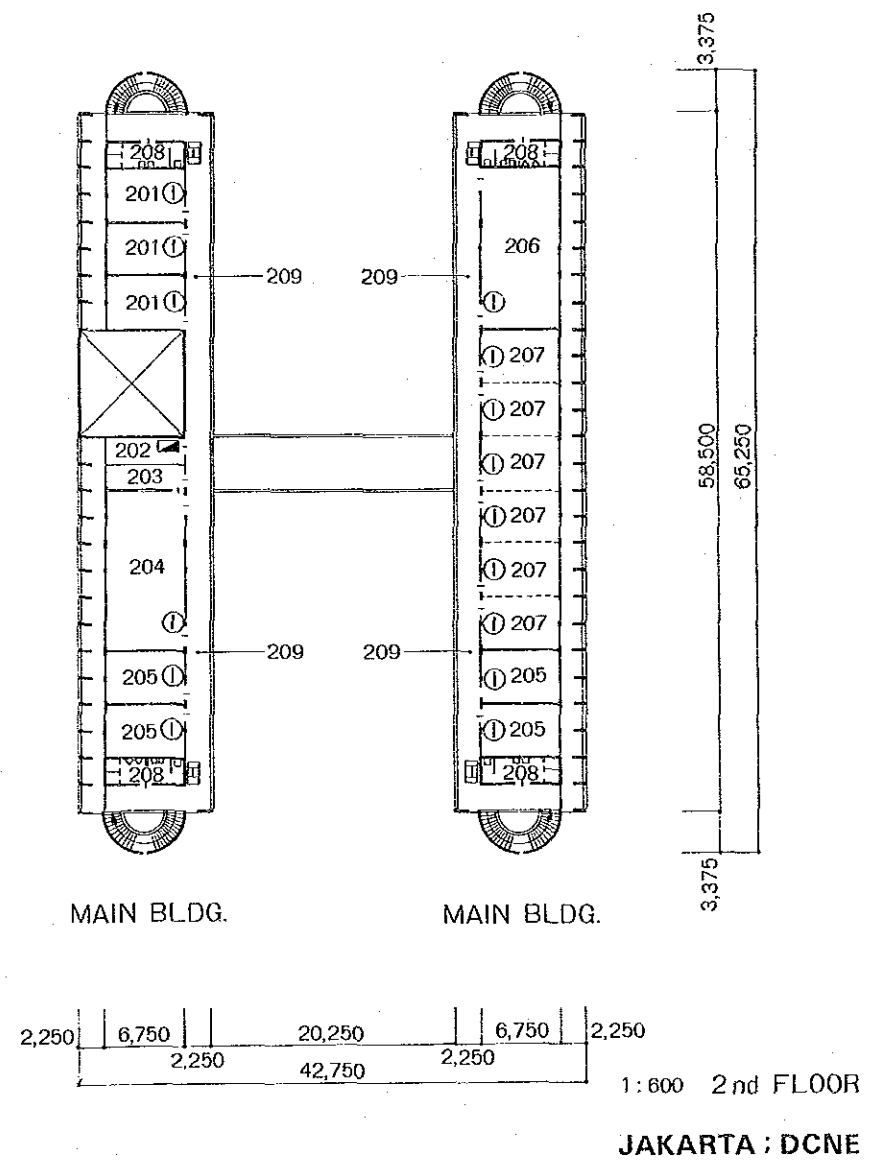
LEGEND

-  CABINET PANEL
-  AMPLIFIER
-  INTERPHONE
-  FIRE HYDRANT



1:600 1st FLOOR
 JAKARTA : DCNE

- MAIN BLDG. 201 NURSE EDUCATORS' ROOM
 202 MECHANICAL ROOM
 203 PROJECTOR ROOM
 204 AUDIO VISUAL ROOM
 205 SEMINAR ROOM
 206 LIBRARY
 207 SPECIALISTS' ROOM
 208 LAVATORY
 209 CORRIDOR



付 属 資 料

付属資料-I	インドネシア共和国関係者一覧	(1)
付属資料-II	インドネシア共和国保健省組織図	(4)
付属資料-III	保健省教育訓練センター (CET) 組織図	(6)
付属資料-IV	看護教育プロジェクト技術協力の RECORD OF DISCUSSIONS	(7)
付属資料-V	インドネシア共和国側発行書類	(20)
	V-(I) 南スラウェシ州知事よりウジュンパンダン市長宛への HNTS 用地購入に関する手紙と図面 (1978年11月9日)	(20)
	V-(II) KANTOR WILAYAH より CET 宛への HNTS 用地購入 に関する手紙と図面 (1979年2月22日)	(22)
	V-(III) 南スラウェシ州知事より保健省次官宛への HNTS 用地 購入に関する手紙と図面 (1979年2月26日)	(24)
	V-(IV) CET より南スラウェシ州知事宛へウジュンパンダン市長 の負担する「イ」国側工事予算について依頼する手紙	(26)
	V-(V) 確認調査団より CET 副所長宛への MEMORANDUM と 副所長よりの返信	(28)
付属資料-VI	技術資料	(34)
	VI-(I) 気候条件	(34)
	VI-(II) 建設関連法規および技術基準	(41)
	(I) 概 説	(41)
	(II) STANDARDS & CODES	(41)
	VI-(III) 建設単価	(44)
	(I) 資材費	(44)
	(II) 労務費	(84)
	VI-(IV) 建設工費	(90)
	(I) CASE I	(90)
	(II) CASE II	(91)
	VI-(V) 建設に関する補足説明	(92)
	(I) 建設業者について	(92)
	(II) 建設工費について	(93)
	(III) 材料の入手について	(95)
	(IV) 一般事情	(97)

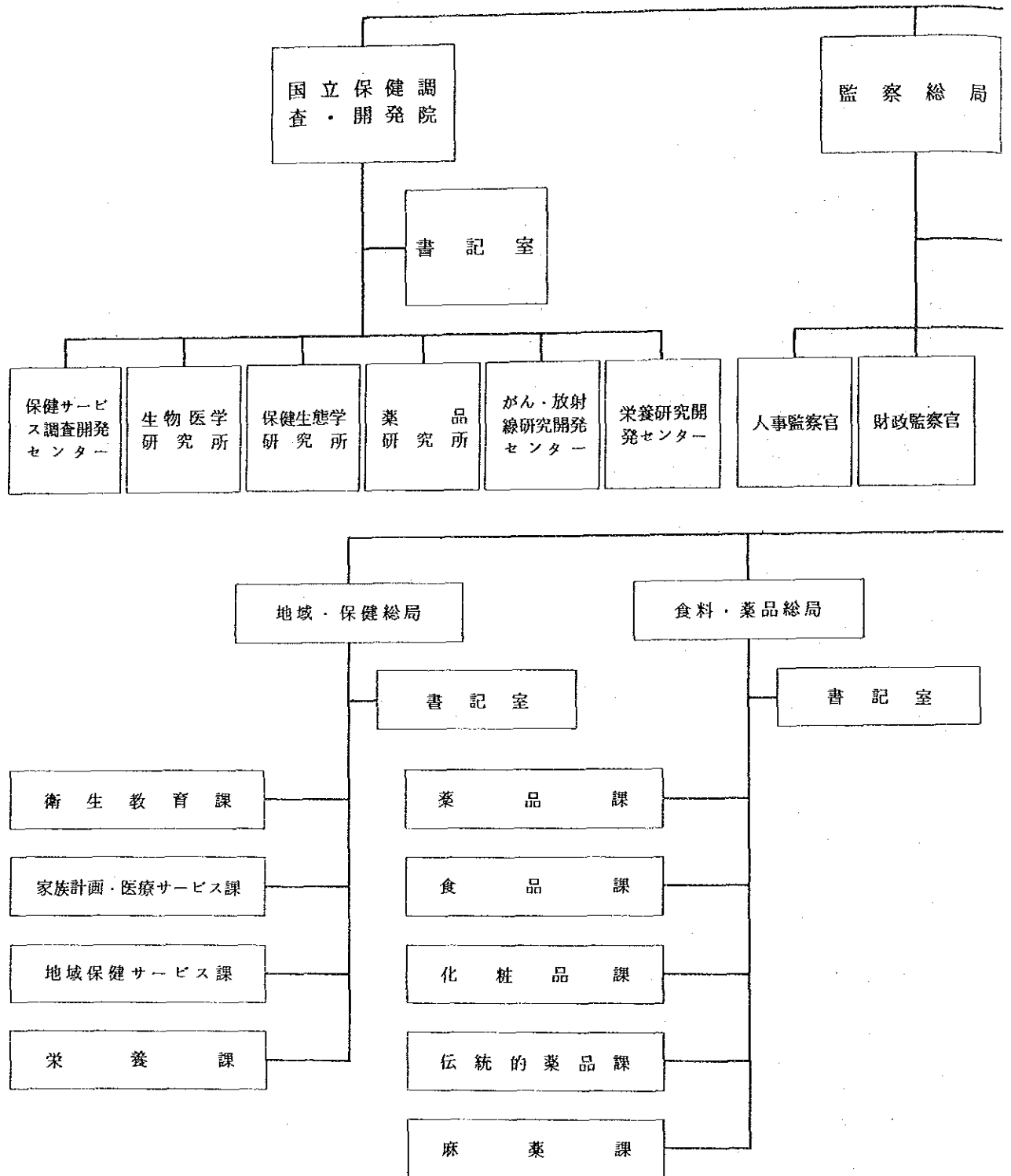
List of Persons Concerned

- SURVEY MISSIONS FOR BASIC DESIGN AND FOR EXPLAINING BASIC DESIGN -

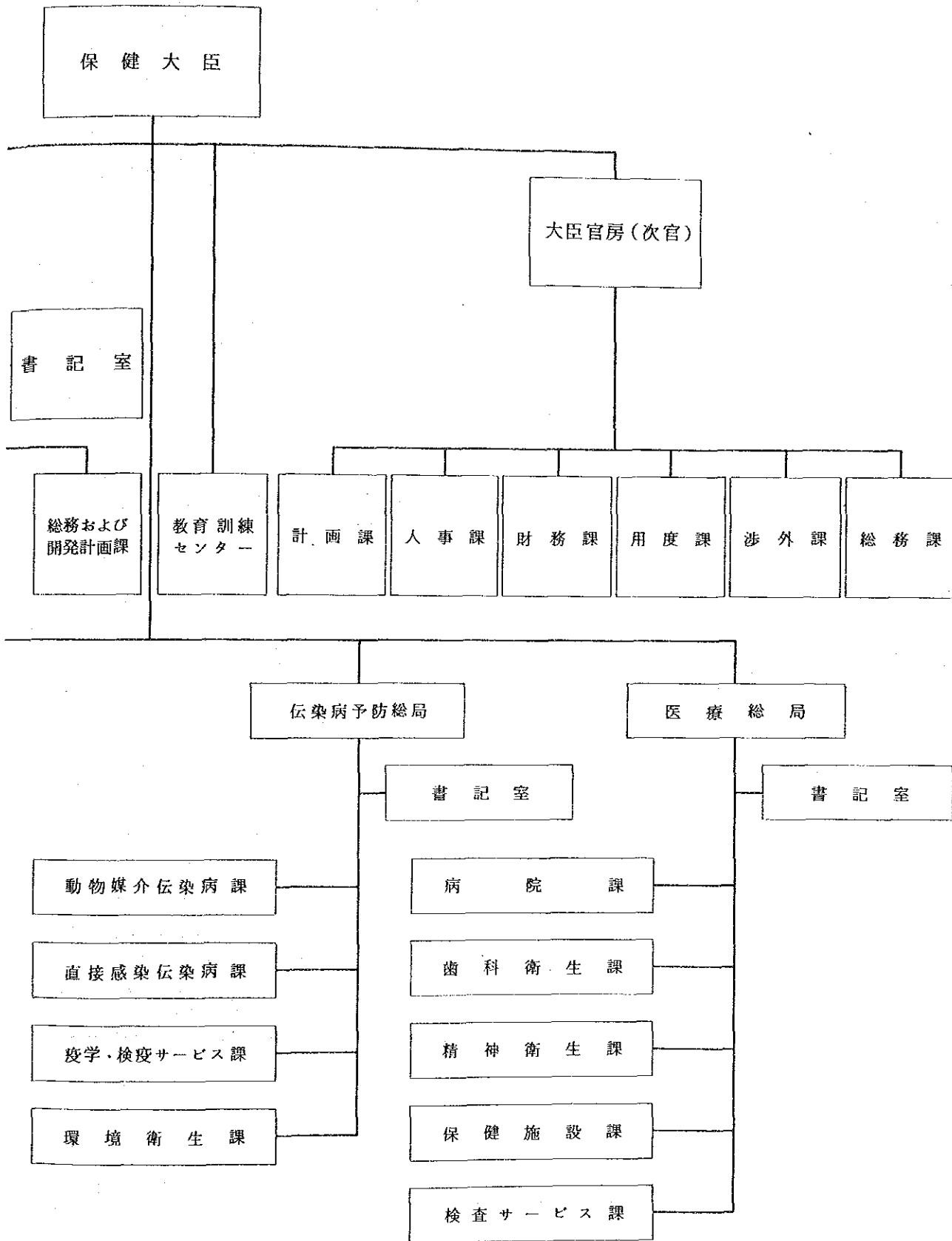
Mr. Soejoto	Secretary General Ministry of Health
Dr. H. Herman Soesilo MPH.	Director Center for Education and Training Ministry of Health
Drs. Sutia Anggadihardja	Assistant Director The Center for Education and Training Ministry of Health
Drs. ABD. Moeloek Dialil	Head, Foreign Relations Division Ministry of Health
Mr. Ikrom A. Refai	Secretariate, Foreign Relations Division Ministry of Health
Mr. F.A. Rampen	Secretariate, Planning Bureau Ministry of Health
Ir. Sudiman	Sub-Director, Planning Bureau Ministry of Health
Mr. Usman Tuo BE.	DIT. Instlasi Kesehatan Ministry of Health
Mrs. Fardiah Jasin	Secretariate, Center for Education and Training Ministry of Health
Mr. C.F. Wattimena	Secretariate, Center for Education and Training Ministry of Health
Mr. Adang Iskaudar	Reporting Staff, Center for Education and Training Ministry of Health

Drs. M. Daud Nampo	Secretary of Provincial Government South Sulawesi
Mr. Andi Gazaling	Head, Public Welfare of Provincial Government South Sulawesi
Dr. Tadjuddin Chalid MPH.	Director, Provincial Health Service South Sulawesi
Dr. A. Munru	Assistant Director, Provincial Health Service South Sulawesi
Dr. M.N. Anwar, SKM	Provincial Health Services South Sulawesi Head of Municipality Health Service
Drs. Elim Salim	Provincial Health Services South Sulawesi Representative of Ministry of Health
Mr. Achmad Idrus, BSC.	Acting Head, Planning Division of Provincial Health Services South Sulawesi Representative of Ministry of Health
Mr. M. Aris D.M.	Head of Education Division of Provincial Health Services South Sulawesi
Mr. A.R. Malaka S.H.	Chairman, The Provincial Development Planning Board South Sulawesi
Mr. Harry Soerjanto	Principal of Ujung Pandang Health Nurse Training School Secretariate of Center for Education and Training
Mr. A. Azis Ichsan	Head of Health Affairs, Public Welfare South Sulawesi Governor's Office

Mr. Jr. Soediman	Secretariate of Health Installation Ministry of Health
Mr. Arsyad Puji	Health Planner, Provincial Health Services Provincial Government
Mr. H. Maming	Principal of DNS (Dental Nurse School)
Ir. Rusdi Otoluwa	Head of Public Works Department Provincial Government
Mr. Abdul Rauf	Head of Electricity Department Provincial Government
Mr. A.J. Mailuhu	Head of Telecommunication Department Provincial Government

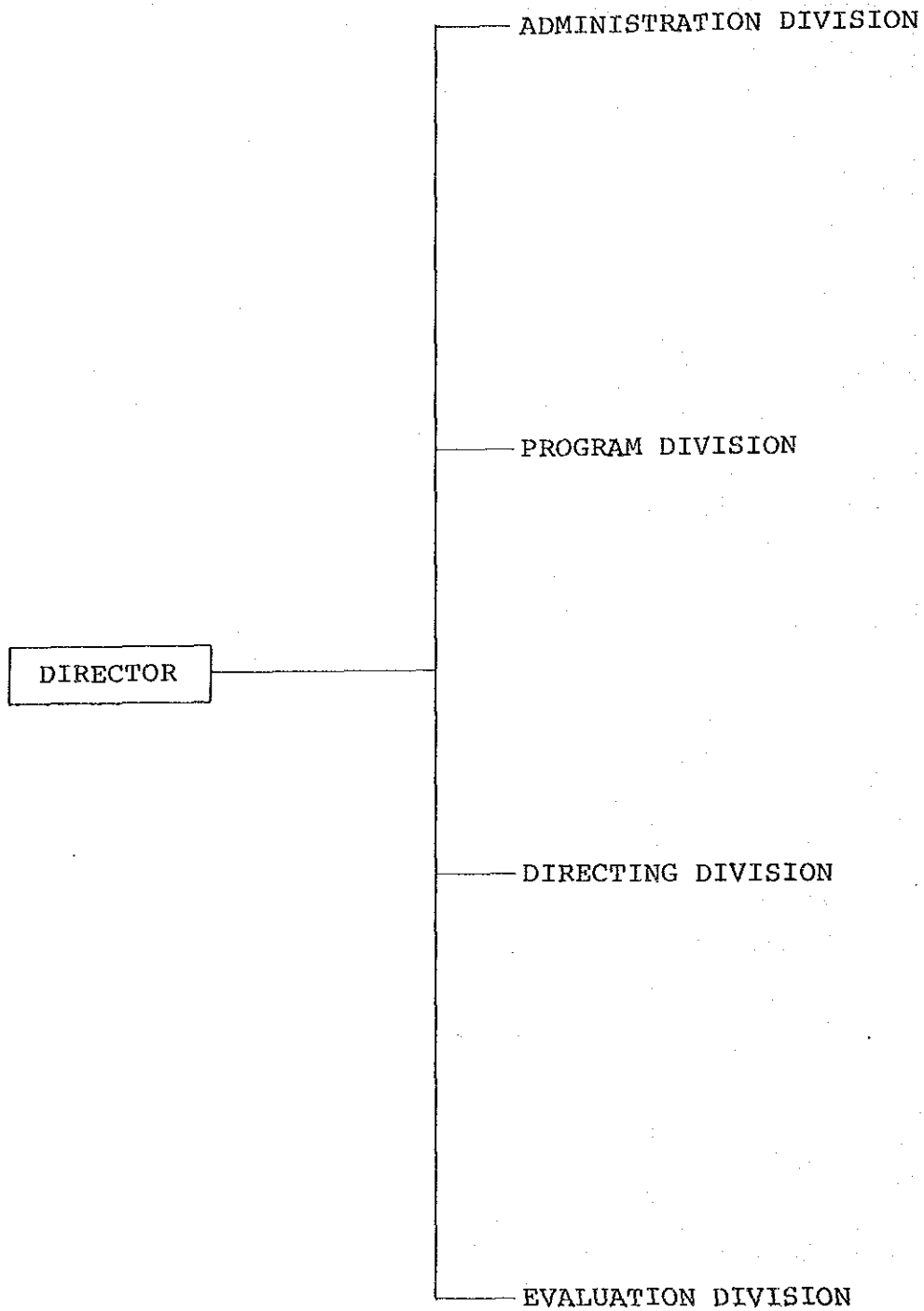


組織・機構



付属資料一Ⅲ 保健省教育訓練センター（CET）組織図

ORGANIZATION OF CET (CENTER FOR EDUCATION AND TRAINING)



付属資料-IV 看護教育プロジェクト技術協力の
RECORD OF DISCUSSIONS

THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE NURSING EDUCATION PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA) and headed by Professor Haruo Katsunuma, Vice President of Kyorin University and Professor Emeritus of the University of Tokyo, visited the Republic of Indonesia from October 22nd to November 3rd, 1978 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Nursing Education Project in the Republic of Indonesia.

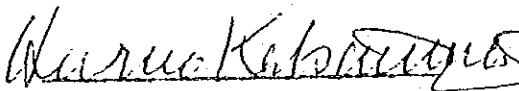
During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result ...

As a result of the discussions, the Team and the Indonesian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

November 3, 1978.

Jakarta, Indonesia.



Professor Haruo Katsuruma
Head of the Japanese
Implementation Survey Team



Dr. Sula Anggadiahardja
On behalf of Secretary General,
Acting Director of the Center
for Education and Training
Ministry of Health.

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Nursing Education Project (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of the development of nursing education in the Republic of Indonesia.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in 1. above and their dependants will be granted in the Republic of Indonesia the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries assigned in the Republic of Indonesia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme, and will include the following :

- (1) Exemption from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with project salary and allowance remitted from the Government of Japan;
- (2) Exemption from import and export duties and any other charges imposed in respect of personal and household effects which may be brought into from abroad or taken out of the Republic of Indonesia;
- (3) Exemption from import tax, import sales tax, sales tax, and other taxes imposed on or in connection with the purchase in the Republic of Indonesia by the Japanese Experts of one motor vehicle per each expert; and
- (4) Free medical services and facilities to the Japanese Experts and their dependants in government dispensaries and hospitals.

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III, through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The articles referred to in 1 above will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.

IV. TRAINING OF INDONESIAN PERSONNEL IN JAPAN

- L. In accordance with the laws and regulations in force in Japan,

the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Indonesian personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV ;
 - (2) Existing Land, buildings and facilities as listed in Annex V ;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above ;
 - (4) Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of Indonesia;
 - (5) Furnished existing accommodations for the Japanese experts and their dependants.

2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Indonesia of the articles referred to in III above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Republic of Indonesia on the articles referred to in III above ;
- (3) All running expenses necessary for the implementation of the Project.

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Indonesian staff associated with the Project pertaining to the implementation of the Project, and the Indonesian authorities concerned will be responsible for the administrative and managerial matters pertaining to the Project.
2. For the successful implementation of the Project, the Joint Committee will be established with the members as listed in Annex VI.

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Indonesia under-takes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Indonesia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five years from November 3, 1978.

ANNEX I

MASTER PLAN

The Government of Japan will cooperate with the Government of the Republic of Indonesia in carrying out the Nursing Education Project with particular reference to the training of teaching staff in nursing education through dispatch of Japanese experts, acceptance of Indonesian personnel for training in Japan and provision of equipment.

The Project is intended to take up the following activities for the further development of the total nursing education system in the Republic of Indonesia.

- (1). Improvement of curriculum for nursing education.
- (2). Improvement of teaching methodology for nursing education.
- (3). Improvement of other fields of nursing education mutually agreed upon as necessary.

ANNEX II

JAPANESE EXPERTS

1. Expert in nursing education (general)
2. Expert in clinical nursing
3. Expert in public health nursing
4. Expert in education media preparing
5. Expert in nursing school administration
6. Other experts mutually agreed upon as necessary.

Note : One of the experts will be nominated as Team Leader.

ANNEX III

LIST OF ARTICLES

Machinery, equipments, vehicles and other materials for the nursing education.

ANNEX IV

LIST OF INDONESIAN STAFF

1. Project Director (Director of the Center for Education and Training, Ministry of Health).
2. Project Manager.
3. Counterpart personnel to the experts.
4. Clerical and service personnel such as typists, clerks, drivers, etc.
5. Other personnel mutually agreed as necessary.

ANNEX V

LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

The Government of the Republic of Indonesia offers existing land, buildings and facilities enough to the Project.

ANNEX VI

COMPOSITION OF THE JOINT COMMITTEE

Chairman : Project Director

Indonesian side	Japanese side
1. Project Manager	1. Team Leader
2. Counterparts	2. Experts
3. Other personnel appointed by the chairman.	3. Representative of Japan International Cooperation Agency.

Note :

Official of the Embassy of Japan may attend the
Joint Committee as observer.

付属資料-V インドネシア共和国側発行書類

V-(I) 南スラウエシ州知事よりウジュンパンダン市長宛への

HNTS用地購入に関する手紙と図面(1978年11月9日)

GUBERNUR KEPALA DAERAH TINGKAT I SULAWESI SELATAN

JALAN PUSKOPERACHMAD NO. 2
UJUNG PANDANG

K e p a d a

Yth. Walikota Kota Ujung Pandang,
di-

Nomor : Agr 16/57/50.-

UJUNG PANDANG.-

Lampiran : 1

Perihal : Pembebasan tanah seluas
2 Ha di Tidang Rapposini
Kotamadya Ujung Pandang
untuk dipergunakan oleh
Departemen Kesehatan.-

Ujung Pandang, 10 Desember 1978.-

Dengan hormat,

Sebagaimana Saudara telah maklum, bahwa Pemerintah Republik Indonesia dengan bantuan/kerja sama dengan Pemerintah Jepang, melalui JICA (Japan International Cooperation Agency) akan membangun Sekolah Guru Perawatan Departemen Kesehatan di Ujung Pandang.

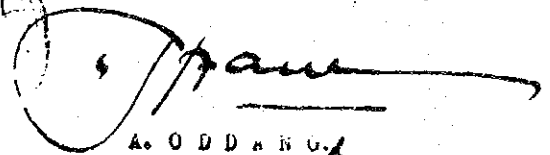
Sekolah Guru Perawatan tersebut sesuai dengan hasil survey Team Jepang pada tanggal 28 Oktober 1978 direncanakan akan dibangun di suatu lokasi seluas 2 Ha di Tidang-Rapposini Kecamatan Tamalate Ujung Pandang sepanjang pinggir jalan yang ada sekarang, sesuai dengan peta lokasi yang kami lampirkan bersama ini.

Berhubung sangat mendesaknyanya waktu pembangunannya, maka diharapkan bantuan Saudara agar tanah dimaksudkan dapat segera dibebaskan oleh Panitia Pembebasan Tanah Kotamadya Ujung Pandang sesuai ketentuan Peraturan Menteri Dalam Negeri Nomor 15 Tahun 1975.

Adapun mengenai biaya pembebasan tanah tersebut diatas yang diperkirakan akan meliputi jumlah Rp.16 juta, akan ditanggung oleh Pemerintah Daerah Tingkat I Propinsi Sulawesi Selatan. Pelaksanaan pembebasan tanah dimaksud diharapkan sudah dapat dirampungkan sebelum akhir bulan Nopember 1978 yang akan datang.

Demikian disampaikan kepada Saudara dengan permintaan agar persediaan tersebut mendapatkan penyelesaian sebagaimana mestinya.-

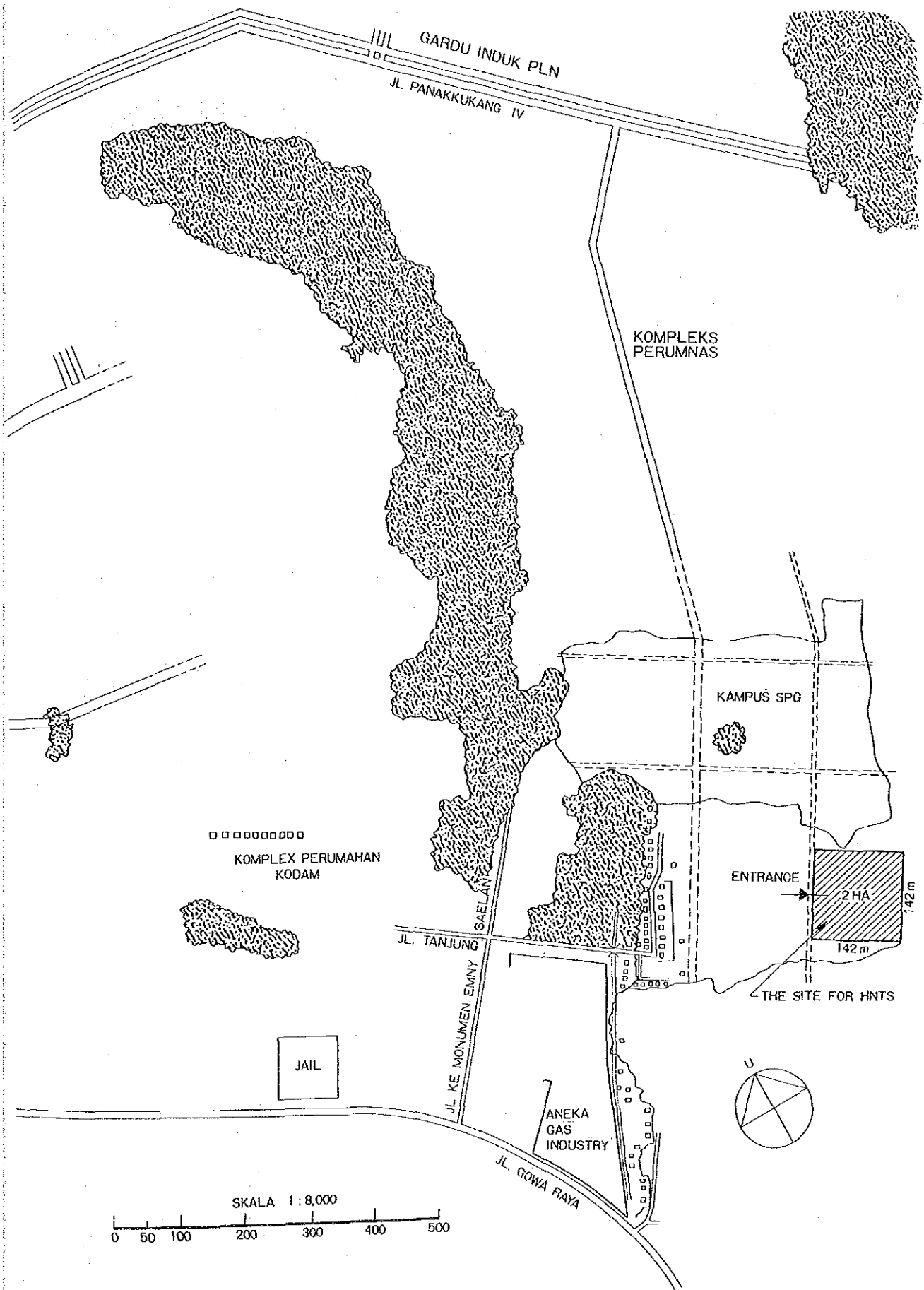
GUBERNUR KEPALA DAERAH TINGKAT I :



A. O. D. H. G. A.

TERBUKAS 1

- Yth. 1. Sekjen Dep. Kes.R.I. di Jakarta.
2. Kepala Usdiklat Dep.Kes.R. di Jakarta, ✓
3. Kakanwil Dep.Kes Prop.Sul- sel. di Ujung Pandang,
4. Ketua BAPPETA Prop.Sul.Sel. di Ujung Pandang,



V-(II) KANTOR WILAYAHよりCET宛へのHNTS用地購入
に関する手紙と図面(1979年2月22日)

KANTOR WILAYAH DEPARTEMEN KESEHATAN R.I.
PROPINSI SULAWESI SELATAN

Jalan Slamet Riyadi No. 4, Ujung Pandang
Tilpon : 22552, 7227, 21163, 21164.

Nomor : 5071/Kanwil/U/1979.
Lampiran : 1 berkas.
Perihal : Pembebasan Tanah seluas 2,37 HA.
di Tidung untuk S.G.P.R.

Ujung Pandang, 18 Januari 1979.

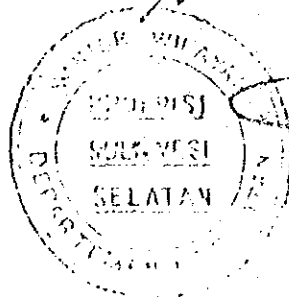
Kepada
Yth. Kepala Pusdiklat Dep.Kes.R.I.
Jalan Hang Jebat 3 Blok F.III
Kebayoran Baru
J a k a r t a.

Dengan hormat,

Bersama ini kami sampaikan kepada Saudara foto copy surat pengantar Kepala Sub Direktorat Agraria Kotamadya Ujungpandang No.20/Agm/da/79 tanggal 15 Januari 1979 yang ditujukan kepada Gubernur, Kepala Daerah Tingkat I Sulawesi Selatan dan tembusannya antara lain kepada kami, berikut foto Surat Keputusan Walikota Kotamadya Ujungpandang No. Sk.02/I/por/79 tanggal 4 Januari 1979, yang untuk singkatnya kami perlihatkan Saudara membacanya, untuk digunakan seperlunya.

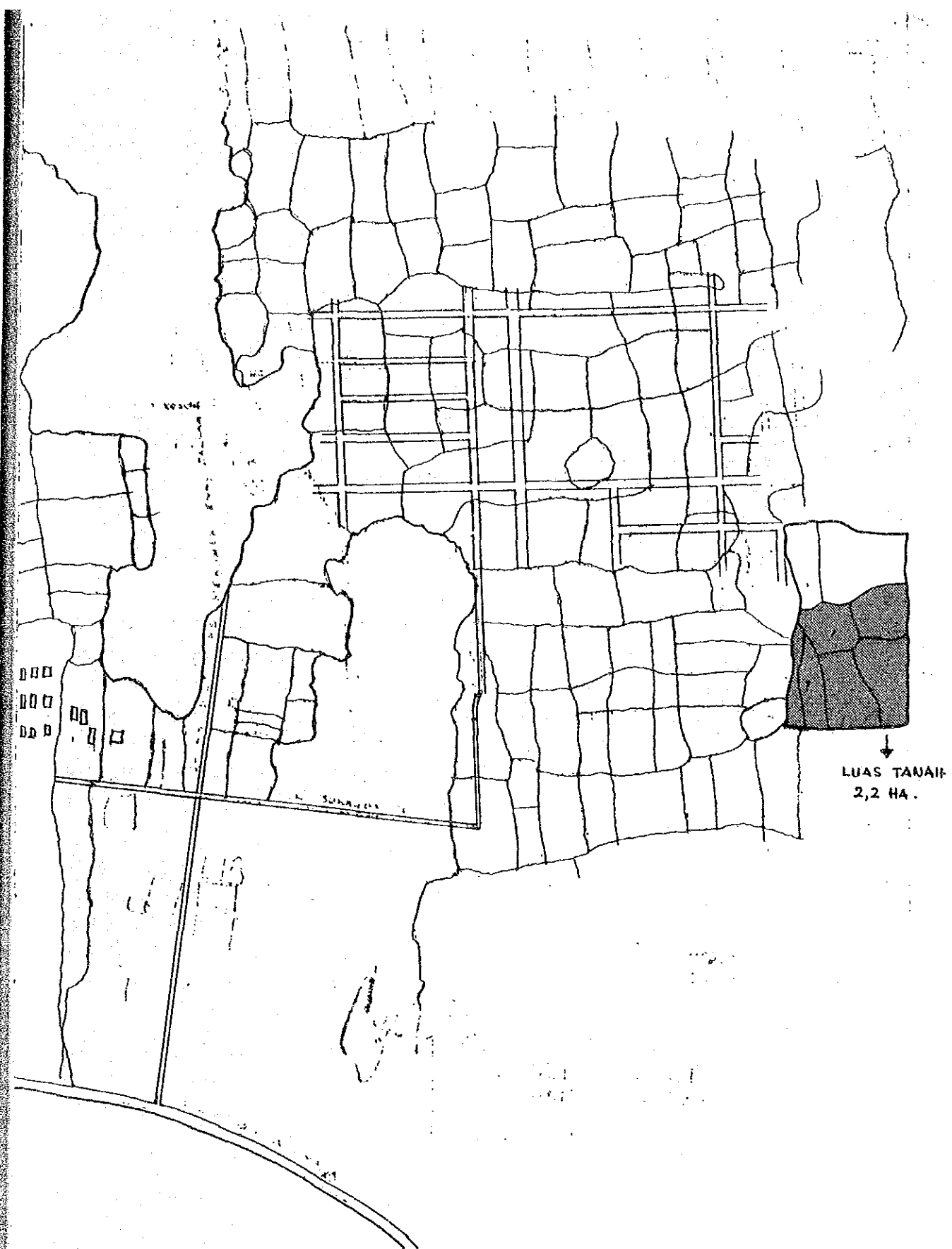
Atas perhatian Saudara kami ucapkan terima kasih.

Kepala Kantor Wilayah Departemen Kesehatan
Propinsi Sulawesi Selatan,



(dr. Tadjuddin Chalid MPH.)
N.I.P. 140062981

PUSDIKLAT DEP. RES. R.I.
TANGGAL : 20-1-79
No. Agenda : 734
TANDA TANGAN,



↓
LUAS TANAH
2,2 HA.

V-(III) 南スラウエシ州知事より保健省次官宛へのHNTS用地購入
に関する手紙と図面(1979年2月26日)



GUBERNUR KEPALA DAERAH TINGKAT I SULAWESI SELATAN

JALAN JENDERAL ACHMAD YANI NO. 2
UJUNG PANDANG

Kepada

Yth. BAPAK MENTERI KESEHATAN R.I.
up. BAPAK SEKRETARIS JENDERAL,

di -

JAKARTA-

Ujung Pandang, 26 Februari 1979.-

Nomor : Agr 16/63/34.
Lampiran : 1 (satu) lbr.
Perihal : Pebebasan tanah seluas 2 HA
di Tidang Rappocini Kotamadya
Ujung Pandang untuk dipergu -
nakan oleh Departemen Keseha-
tan.-

Dengan hormat,

Mengunjuk surat Bapak Menteri tanggal 6 Desember 1978 No.1126/S.J/
Inst.Kes/XII/78 mengenai perihal tersebut diatas, dengan ini dilaporkan
bahwa proses pebebasan tanah seluas 2,97 HA di Tidang-Rappocini, Keca-
matan Tanalata, Kotamadya Ujung Pandang untuk lokasi pembangunan Sekolah
Guru Perawat, kini telah mencapai penyelesaian akhir dengan ditetapkannya
Surat Keputusan Panitia Pebebasan Tanah untuk keperluan Pemerintah
dalam Wilayah Kotamadya Ujung Pandang tanggal 4 Januari 1979 NO. SK 02/
I/171/79.

Pelaksanaan pembayarannya akan segera kami selesaikan, sehingga -
dengan demikian diharapkan sertifikat tanah dimaksud berikut survey lo-
kasi skala 1:1000 sesuai yang diminta lengkap dengan rencana jalan dan
fasilitas lainnya akan kami siapkan dan serahkan kepada Kanwil DEPKES -
Ujung Pandang selambat-lambatnya pada tanggal 15 Maret 1979, sesuai pa-
la dengan perintah Team Jejang untuk melengkapinya.

Sekedar bahan bagi Bapak Menteri, bersama ini kami lampirkan peta-
lokasi skala 1 : 5000 ; dari tanah yang dibebaskan tersebut, termasuk -
tanah yang sudah siap untuk dibebaskan tahap berikutnya.

Danikian penyempitan kami kiranya Bapak Menteri maklum.-

GUBERNUR KEPALA DAERAH TINGKAT I :

u.h.

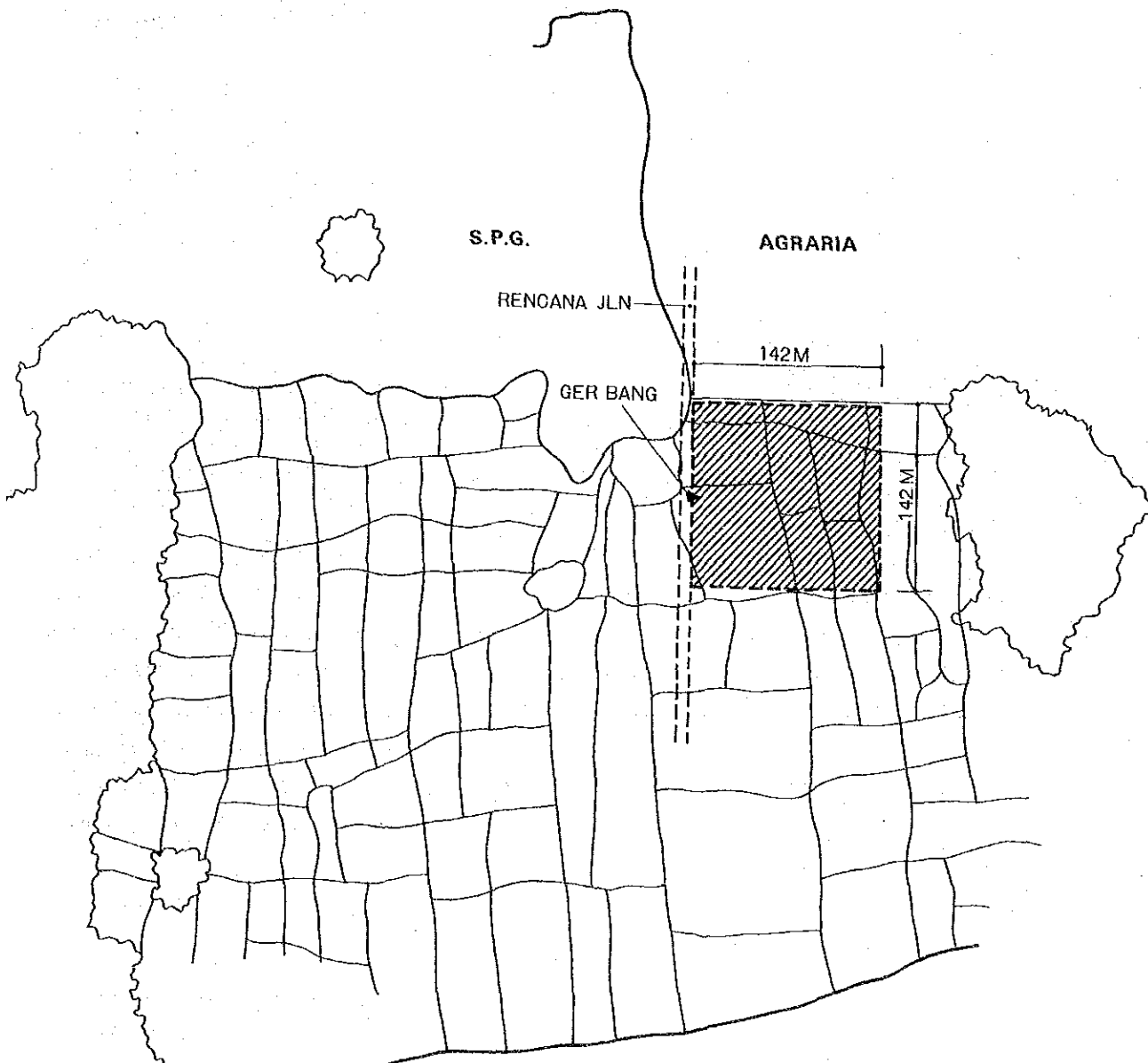
Sekretaris Wilayah/Daerah Tingkat I,



Drs. N. M. DAUD R. S. O. J.
NIP : 010062339.

TEMBUSAN :

1. Yth Kepala Pusdiklat Dep.Kes di Jakarta,
2. " Ekanwil Dep.Kes Prop.Sul.Sel. di Ujung Pandang,
3. " Kepala Direktorat Agraria Prop. Sul.Sel. di Ujung Pandang,
4. " Walikota Kepala Daerah Tingkat II Ujung Pandang di Ujung Pandang.-



BATAS TANAH SUDAH SEJAJAR DENGAN
RENCANA JALAN



V-(IV) CETより南スラウエシ州知事宛へウジュンパンダン市長の

負担する「イ」国側工事予算について依頼する手紙

DEPARTEMEN KESEHATAN REPUBLIK INDONESIA

PUSAT PENDIDIKAN DAN LATIHAN PEGAWAI

Jalan Hang Jebat 3 Blok F III Kebayoran Baru

Telp. 772162 - 777913

JAKARTA

No.

/Us/Diklat/Kes/79.

Jakarta, Februari 19 79.

Lampiran

1 (satu) lembar

Perihal

Penyediaan infrastruktur
untuk proyek Sekolah Guru
Perawat.

Kepada Yth. :

Bapak Gubernur Kepala Daerah
Tingkat I Sulawesi Selatan
di -

UJUNG PANDANG

Sebagai kelanjutan kunjungan Tema Pusdiklat Depkes. dalam bulan Nopember 1978 dan bulan Februari 1979, dan pembicaraan dengan Pejabat-pejabat teras Ke tamadya Ujung Pandang, serta sehubungan dengan surat kami No. 1126/SJ/Inst.Kes /XII/79 tanggal 6 Desember 1978, mengenai rencana pembangunan suatu Gedung Sekolah Guru Perawat di Ujung Pandang, maka bersama ini kami mohon dengan hormat kesediaan Bapak untuk dapat menyediakan prasarana jalan, listrik dan air yang akan diperlukan dari saat konstruksi bangunan tersebut mulai dilaksanakan. Ini berarti bahwa prasarana-prasarana tersebut diharapkan sudah selesai pada saat konstruksi dimulai.

Memurut rencana kalau segala sesuatu berjalan dengan lancar, Sekolah tersebut akan mulai dibangun pada bulan Agustus 1979.

Mengingat bahwa persiapan-persiapan tanah dan sarana bangunan Sekolah tersebut sudah harus selesai sebelum rapat fihak Jepang perihal bantuan ke Indonesia tersebut yang akan diadakan pada akhir Maret 1979, maka kami mohon dengan sangat kesediaan Bapak untuk mengusahakan agar kami dapat menerima surat jawaban Bapak perihal "Kesediaan Pemerintah Daerah" tersebut, sebelum tanggal 15 Maret 1979, sesuai dengan tanggal batas waktu yang telah ditentukan oleh fihak Jepang.

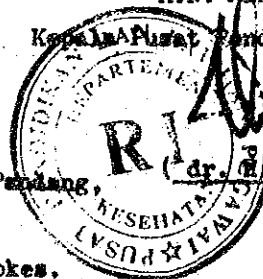
Atas perhatian serta kesediaan Bapak kami ucapkan terima kasih sebelumnya.

A.N. MENTERI KESEHATAN R.I.

Kepala Pusat Pendidikan dan Latihan Pegawai

Tembusan Kepada Yth. :

- Bapak Sekjen. Depkes. sebagai laporan,
- Sdr. Walikota Kepala Daerah Tk. I Ujung Pandang,
- Sdr. Kepala Kantor Wilayah Depkes. Propinsi Sulawesi Selatan
- Kepala Direktorat Instalasi Kesehatan Depkes.



(dr. H. Herman Soesilo MPH)
NIP. : 140063658.

Prasarana yang diperlukan bantuan dari Wali Kota Ujung Pandang guna fasilitas Health Nurse Training School yang akan dibangun di Tidung Ujung Pandang.

Jalan :

- I. Jalan lebar 16 M yang merupakan jalan permanen dari arah kompleks Perumnas ke jalan Gowa Raya, yang direncanakan sesuai dengan Masterplan Kota, dimohonkan Bapak Wali Kota untuk menyediakan pengadaannya. Dari jalan tersebut, guna mencapai bagian sebelah Barat dari lokasi tanah untuk H.N.T.S. tersebut maka diperlukan jalan cabang yang menuju ke arah Timur. Panjang jalan cabang dari jalan yang lebar 16 M tadi sampai di Lokasi Proyek diperkirakan sekitar 300 meter.
- II. Apabila dalam waktu sehingga pelaksanaan pekerjaan akan dimulai jalan dari kompleks Perumnas menuju jalan Gowa Raya belum dapat dilaksanakan, maka diperlukan jalan sementara yang menuju lokasi proyek tersebut. Jalan sementara tersebut yaitu dengan mengadakan rehabilitasi jalan yang ada Jalan Ke Monumen Emmy / Jalan Tanjung sepanjang sekitar 700 meter dan perpanjangan jalan meliwati sawah sampai Lokasi Proyek sekitar 300 meter.

Biaya biaya guna maksud diatas diperkirakan sebagai berikut :

I.	500 M x 16 M x 10.000.rp/m ²	= Rp.	80.000.000.
	300 M x 12 M x 10.000.rp/m ²	= "	36.000.000.
			<hr/>
			Rp. 116.000.000.
II.	700 M x 6 M x 6.000.rp/m ²	= Rp.	25.200.000.
	300 M x 12 M x 10.000.rp/m ²	= "	36.000.000.
			<hr/>
			Rp. 61.000.000.

Taksiran biaya tersebut diatas tidak termasuk biaya untuk pembebasan tanah guna pembuatan jalan.

Tenaga Listrik :

Kebutuhan tenaga listrik telah diperlukan pada saat pelaksanaan pekerjaan dimulai. Kebutuhan daya listrik sekitar 70 - 80 Kw. Berhubung kebutuhan daya tersebut cukup besar maka perlu adanya gardu transformator tersendiri untuk kompleks tersebut.

Kapasitas dari transformator tersebut diperlukan sebesar 100 KVA dan sebagai taksiran biaya yang diperlukan sebesar Rp. 12.000.000.

Untuk pengadaan tenaga listrik ini mohon bantuan Bapak Wali Kota Ujung Pandang.

Penyediaan Air :

Mengingat kebutuhan air untuk Proyek ini sebesar 20 ton/hari, maka diperlukan kapasitas air PAM sedikitnya 150L / menit.

Pipa dari PAM diperlukan sampai Reservoir air rendah yang akan disediakan oleh proyek.

Penyambungan PAM dimohon bantuan Bapak Wali Kota dan taksiran biaya penyambungan sekitar Rp. 12.000.000.